

					決算事項別明細書		P137
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	道路橋りょう総務費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-			目	01 道路橋りょう総務費	
予 算 額		16,663,000 円			目的	市道の認定や道路改良等に伴う台帳の補正や整備を行い最新の基礎資料とする。道路賠償責任保険へ加入し、市道の管理瑕疵による事故に対応する。	
決 算 額 A		16,346,184 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料外	13,610 円				
一般財源			16,332,574 円				
人件費コスト B		1.3人役	9,989,200 円		総事業費 A+B	26,335,384 円	

【事業内容】

市道の認定・廃止や道路改良等に伴う構造・形態の変化を反映させた道路台帳の補正・整備を行い、最新の基礎資料を作成した。また、道路賠償責任保険に加入し、市道の管理瑕疵による事故に対応した。

- 道路台帳業務委託料 14,996,880 円
  - ・安来市道路台帳補正業務
  - ・安来市広瀬町メッシュ化業務
  - ・安来市道路管理システム整備業務
- 登記事務委託料 359,954 円
  - ・市道登記業務
- 損害賠償責任保険料 813,990 円
  - ・市道延長 990 km
  - ・農道延長 145 km
  - ・林道延長 30 km
  - ・その他道路延長 1 km
- 事故賠償金 0 円
  - ・自動車損傷事故 0 件
- 道の駅連絡会負担金 120,000 円
  - ・中国「道の駅」連絡会 「道の駅」広瀬・富田城、「道の駅」あらエッサ
  - ・全国「道の駅」連絡会 「道の駅」広瀬・富田城、「道の駅」あらエッサ
- 旅費 55,360 円

					決算事項別明細書		P139
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	18	道路維持費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-			目	02 道路維持費	
予 算 額		201,352,000 円			目的	市道の維持管理・修繕・除雪等を行い、安全で円滑な道路網を確保する。	
決 算 額 A		199,159,297 円					
財源内訳	国・県支出金	国	15,121,306 円				
	地方債	過疎	9,600,000 円				
	その他	諸収入	14,820 円				
	一般財源		174,423,171 円				
人件費コスト B		3.1人役	23,820,400 円		総事業費 A+B	222,979,697 円	

【事業内容】

市内一円の市道の維持管理・補修・修繕等を行い、安全で円滑な道路網を確保した。また、冬季におけるバス路線及び通勤・通学路等の交通路を確保するため、計画的に除雪車を購入するとともに除雪体制の維持に努めた。

- 道路排水ポンプ点検委託料 776,520 円  
・ポンプ場保守点検業務 南十神ポンプ場外5箇所
- 市道維持補修業務委託料 57,822,560 円  
・市道維持補修業務 33件
- 市道樹木維持管理委託料 3,477,600 円  
・市道樹木維持管理業務 市道城谷堤谷線外15路線 防除・施肥・せん定・除草一式
- 除雪業務委託料 59,325,282 円  
・除雪延長 581路線、420.3km ・除雪体制 6契約、62台
- 降積雪量観測業務委託料 121,878 円  
・観測所 1箇所（荒島地区）
- 工事請負費 52,209,360 円  
・舗装修繕工事（交付金事業） 安来港福井線舗装修繕工事外2件  
・道路維持修繕工事 明治小路線道路修繕工事外27件
- 道路補修用材料費 4,972,958 円  
・自治会等への補修用材料の支給 61件
- その他 20,453,139 円

					決算事項別明細書		P139
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	19	道路災害防除事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-			目	02 道路維持費	
予 算 額		82,400,000 円			目的	市道法面の落石・土砂崩れ等の防止対策を 施し、交通の安全を確保する。	
決 算 額 A		54,721,344 円					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	7,875,792 円				
	地方債	合併外	23,900,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		22,945,552 円				
人件費コスト B		0.9人役	6,915,600 円		総事業費 A+B	61,636,944 円	

【事業内容】

災害の未然防止を目的として法面の危険箇所について対策を施し、交通の安全と災害に強い道路ネットワークの整備を行った。

○工事請負費 35,598,960 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・宇波尻線災害防除工事	施工延長 L=23.7m 落石防止網工 A=237㎡	H27. 8.14～ H27.10.16
・宇波尻線災害防除（その2）工事	落石防止工 N=3箇所 （ロープ掛工・ロープ伏工）	H27.11.10～ H27.12.18
・清瀬神宮寺線道路災害関連工事	施工延長 L=49.9m 土工 1式 法面工 A=1,610㎡	H27. 9.29～ H28.3.18

○測量・設計委託料 18,345,960 円

- ・清瀬神宮寺線測量調査設計業務
- ・清瀬神宮寺線用地測量業務
- ・奥谷線測量・地質調査業務
- ・奥谷線災害防除法面設計業務

○土地購入費 176,424 円

- ・清瀬神宮寺線（山林 1,176㎡）

○事務費 600,000 円



竣工（宇波尻線）



竣工（清瀬神宮寺線）

※翌年度繰越額 27,300,000 円

【繰越明許】

決算事項別明細書				P139	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり		担当部署	土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備		予算科目	会計 01 一般会計
小事業	19	道路災害防除事業費			款 08 土木費
事業開始年度		平成26年度			項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		-			目 02 道路維持費
予 算 額		0 円		目的	市道法面の落石・土砂崩れ等の防止対策を 施し、交通の安全を確保する。
決 算 額 A		22,966,948 円			
財源内訳	国・県支出金	国6/10	13,587,676 円		
	地方債	合併	8,900,000 円		
	その他		0 円		
	一般財源		479,272 円		
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B	22,966,948 円

【事業内容】

災害の未然防止を目的として法面の危険箇所について対策を施し、交通の安全と災害に強い道路ネットワークの整備を行った。

○工事請負費 22,618,920 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・久白津田平線災害防除（その2）工事	施工延長 L=128.5m 土工 V=1,200m <sup>3</sup> 法面工 A=2,260m <sup>2</sup> 水路工 L=56m	H26.8.12～H27.4.24

○物件移転補償費 27,208 円

・久白津田平線（電柱移転 1式）

○事務費 320,820 円



久白津田平線

						決算事項別明細書		P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		土木建設課	
中事業	10	道路ネットワークの整備				予算科目	会計	01	一般会計
小事業	20	一般市道改良費					款	08	土木費
事業開始年度		平成27年度					項	02	道路橋りょう費
事業進捗度		-					目	03	道路新設改良費
予 算 額		110,138,000 円				目的	幹線道路への接続、交通渋滞の解消、付近の農業及び地場産業の活動を支援する道路網の整備により、機能的交通体系の形成を図る。		
決 算 額 A		105,415,864 円							
財源内訳	国・県支出金	0 円							
	地方債	合併外	63,500,000 円						
	その他	諸収入	4,284,344 円						
	一般財源	37,631,520 円							
人件費コスト B		2.0人役	15,368,000 円		総事業費 A+B		120,783,864 円		

【事業内容】

まちづくりの基盤となる交通アクセスの確立を目指し、市民生活に密着した道路整備を進めた。その中でも緊急性・重要性の高い路線を中心に工事や測量設計等を行い、地域の交通体系の諸問題解消に努めた。

○工事請負費 51,458,760 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・加茂1号線道路改良工事	L= 42m	H27. 12. 1～ H28. 3. 11
・細井佐久保線道路改良工事	L=126m	H27. 5. 15～ H27. 8. 31
・細井佐久保線道路改良工事(その2)	L=116m	H28. 1. 20～ H28. 3. 25
・オヶ峠線道路改良工事	L= 20m	H27. 4. 17～ H27. 7. 21
・オヶ峠線道路改良工事(その2)	L= 20m	H27. 7. 1～ H27. 7. 21
・オヶ峠線道路改良工事(その3)	L= 30m	H28. 1. 15～ H28. 3. 18
・オヶ峠線道路改良工事(その4)	L= 15m	H28. 3. 1～ H28. 3. 22
・論田町内線舗装新設工事	L=126m	H27. 5. 29～ H27. 8. 24
・国服鳥木線道路改良工事	L=154m	H27. 7. 31～ H28. 3. 10
・国服鳥木線道路改良工事(その2)	L=183m	H28. 1. 26～ H28. 3. 25
・東十神17号線道路改良工事	L= 34m	H27. 12. 5～ H28. 3. 25
・東十神17号線舗装新設工事	L= 34m	H28. 1. 19～ H28. 3. 7
・須崎9号線道路改良工事	L= 60m	H27. 12. 9～ H28. 3. 18
・才下10号線道路改良工事	L= 11m	H28. 1. 26～ H28. 3. 25
・才下10号線道路改良工事(その2)	L= 3m	H28. 2. 24～ H28. 3. 18

○土地購入費 21,538,444 円

・国服鳥木線、加茂1号線、細井佐久保線、才下10号線

○測量設計業務委託料 20,558,880 円

・菅谷線調査業務 外6件

○登記事務委託料 2,156,760 円

・細井佐久保線、加茂1号線分筆登記業務

○物件移転補償費 4,244,745 円

・動産移転 3件 ・水道施設移転 1件 ・工作物移転等 6件

○事務費 5,458,275 円

【繰越明許】

決算事項別明細書			P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり	担当部署	土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	20	一般市道改良費		款 08 土木費
事業開始年度		平成26年度		項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		—		目 03 道路新設改良費
予 算 額		0 円		
決 算 額 A		8,270,640 円		
財源内訳	国・県支出金	国6/10	4,962,384 円	
	地方債	合併	3,100,000 円	
	その他		0 円	
	一般財源		208,256 円	
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B 8,270,640 円
目的				
幹線道路への接続、交通渋滞の解消、付近の農業及び地場産業の活動を支援する道路網の整備により、機能的交通体系の形成を図る。				

【事業内容】

まちづくりの基盤となる交通アクセスの確立を目指し、市民生活に密着した道路整備を進めた。その中でも緊急性・重要性の高い路線を中心に工事や測量設計等を行い、地域の交通体系の諸問題解消に努めた。

○工事請負費 8,270,640 円

工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・ 防災・安全交付金事業和田1号線道路改良工事	L=39m	H26. 12. 18～ H27. 11. 24
・ 和田1号線道路改良工事(その2)	L=17m	H27. 8. 6～ H27. 11. 24
・ 和田1号線安全施設工事	付属物施設工 一式	H27. 11. 30～ H28. 1. 28



着手前(防災・安全交付金事業和田1号線道路改良工事)



竣工(防災・安全交付金事業和田1号線道路改良工事)

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		国・県事業推進室
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	21	県事業負担金費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-				目	03 道路新設改良費
予 算 額		10,500,000 円			目的	県が施行する工事に対して、費用負担をすることによって生活基盤の整備促進を図る。	
決 算 額 A		10,500,000 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債	合併	9,900,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		600,000 円				
人件費コスト B		0.5人役	3,842,000 円	総事業費 A+B	14,342,000 円		

【事業内容】

平成27年度に県が施工する道路事業及び砂防事業について、費用負担をすることによって生活基盤の改善を図った。

○県事業負担金 10,500,000円

道路事業

・安来伯太日南線（日立坂） 500,000 円

砂防事業

・急傾斜地崩壊対策事業（目谷地区） 1,000,000 円

・県単急傾斜地崩壊対策事業（本町地区） 9,000,000 円



施行前



施行後

本町地区急傾斜地崩壊対策事業（市立布部小学校裏）

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	22	交通安全施設整備事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-				目	03 道路新設改良費
予 算 額		10,000,000 円			目的	交通安全施設の新設・補修を行い、交通環境の整備と交通事故の発生防止に努める。	
決 算 額 A		9,886,320 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	9,886,320 円					
人件費コスト B		0.4人役	3,073,600 円		総事業費 A+B	12,959,920 円	

【事業内容】

カーブミラーや防護柵の設置等、交通安全施設の新設・補修を行い、交通環境の整備と交通事故の発生防止に努めた。

○工事請負費 9,886,320 円

・交通安全施設整備工事 11件

【工事概要】

- ・カーブミラー新設、修繕
- ・防護柵新設、修繕
- ・区画線新設、修繕
- ・道路照明灯修繕 等



防護柵新設



区画線修繕



カーブミラー新設



カーブミラー新設

					決算事項別明細書		P141																																																																
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課																																																																
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計																																																																
小事業	27	沢吉岡線道路改良事業費				款	08 土木費																																																																
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費																																																																
事業進捗度		95%				目	03 道路新設改良費																																																																
予 算 額		91,000,000 円			目的	住民生活の利便性の向上を図るとともに、安全な通学路を確保する。																																																																	
決 算 額 A		31,965,078 円																																																																					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	17,094,478 円																																																																				
	地方債	過疎	13,600,000 円																																																																				
	その他	諸収入	1,258,840 円																																																																				
	一般財源		11,760 円																																																																				
人件費コスト B		0.7人役	5,378,800 円	総事業費 A+B	37,343,878 円																																																																		
<b>【事業内容】</b>																																																																							
<p>本路線は、県道安来伯太日南線と県道米子広瀬線を結ぶ幹線道路である。路線上には安来二中があり、中学・高校への通学路としての役割も高く、整備の緊急性が高い事業である。また市南部から運動公園、安来道路への最短距離で結ぶ幹線道路であるため、防災上の観点からも整備を行っている。</p>																																																																							
<table border="0"> <tr> <td>○工事請負費</td> <td>6,296,000 円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    工事名</td> <td></td> <td>工事概要</td> <td></td> <td>工期（着工～実地完成）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    ・防災・安全交付金事業</td> <td></td> <td>L=171m</td> <td></td> <td>H28. 1. 13～H28. 10. 31</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    沢吉岡線道路改良工事</td> <td></td> <td>W= 11m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○物件移転補償費</td> <td>2,569,078 円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    ・電柱等移転</td> <td>1 件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○県事業負担金費</td> <td>23,100,000 円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※翌年度繰越額</td> <td>58,034,000 円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								○工事請負費	6,296,000 円							工事名		工事概要		工期（着工～実地完成）				・防災・安全交付金事業		L=171m		H28. 1. 13～H28. 10. 31				沢吉岡線道路改良工事		W= 11m						○物件移転補償費	2,569,078 円							・電柱等移転	1 件							○県事業負担金費	23,100,000 円							※翌年度繰越額	58,034,000 円						
○工事請負費	6,296,000 円																																																																						
工事名		工事概要		工期（着工～実地完成）																																																																			
・防災・安全交付金事業		L=171m		H28. 1. 13～H28. 10. 31																																																																			
沢吉岡線道路改良工事		W= 11m																																																																					
○物件移転補償費	2,569,078 円																																																																						
・電柱等移転	1 件																																																																						
○県事業負担金費	23,100,000 円																																																																						
※翌年度繰越額	58,034,000 円																																																																						

【繰越明許】

決算事項別明細書			P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり	担当部署	土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	27	沢吉岡線道路改良事業費		款 08 土木費
事業開始年度		平成15年度		項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		95%		目 03 道路新設改良費
予 算 額				0 円
決 算 額 A				35,164,770 円
財源内訳	国・県支出金	国6/10	20,589,263 円	
	地方債	過疎	14,500,000 円	
	その他		0 円	
	一般財源		75,507 円	
人件費コスト B		0.0人役	0 円	
総事業費 A+B			35,164,770 円	
<p>目的</p> <p>住民生活の利便性の向上を図るとともに、安全な通学路を確保する。</p>				

【事業内容】

本路線は、県道安来伯太日南線と県道米子広瀬線を結ぶ幹線道路である。路線上には安来二中があり、中学・高校への通学路としての役割も高く、整備の緊急性が高い事業である。また市南部から運動公園、安来道路への最短距離で結ぶ幹線道路であるため、防災上の観点からも整備を行っている。

○県事業負担金費 34,400,000 円

○物件移転補償費 764,770 円



竣工（上流側）



竣工（下流側）

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	28	本町御笠線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成26年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		35%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		4,134,000 円			目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。	
決 算 額 A		4,059,514 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	過疎	3,800,000 円				
	その他	0 円					
	一般財源	259,514 円					
人件費コスト B		0.5人役	3,842,000 円	総事業費 A+B	7,901,514 円		

【事業内容】

本路線は安来市伯太町母里地内にあり、本町地区と御笠地区を結ぶ市道である。沿線には避難場所にも指定されている、小学校、中学校、伯太体育館等の公共施設が集中していて、本町地区住民だけでなく、安来市にとっても非常に重要な路線となっている。

しかし、現在の道路は幅員が3.5m～4.5mと狭いうえに、歩道もなく線形も悪く、すれ違ふことが困難な箇所も多く、利用しづらい道路である。また、大型車が通行する際には、歩行者、二輪車でも通行することが困難な状況で、非常に危険な状況にある道路であるため、幅員拡幅し、併せて線形改良を行っている。

- 工事請負費 464,400 円
 

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・本町御笠線道路改良工事	改良延長 L=22m 路盤工 A=98㎡	H27. 8.13～H27. 8.28
- 土地購入費 2,433,502 円
  - ・宅地 42.67 ㎡
  - ・田 782.46 ㎡
- 物件移転補償費 961,612 円
  - ・補償物件 一式
- 事務費 200,000 円



着手前



竣工

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	33	杉谷線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成21年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		80%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		50,167,000 円			目的	雲南方面や広瀬方面からのアクセス道路、また広瀬中学校へのスクールバス等での通学路であり、安全性の高い道路として整備を行う。	
決 算 額 A		49,756,172 円					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	28,300,104 円				
	地方債	辺地	21,000,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		456,068 円				
人件費コスト B		0.8人役	6,147,200 円	総事業費 A+B	55,903,372 円		

【事業内容】

本路線は、国道432号線と主要地方道安来木次線を結ぶ一級道路であり、主要幹線道路に通じる唯一の生活道路である。未改良区間においては見通しが悪く、また、通学バスや冬季の除雪作業車等がすれ違う箇所が少なく、安全性の高い道路として整備が急がれる。

奥田原地区までの3kmの内、補助申請区間の1kmを計画的に改良を進めている。

○工事請負費 47,166,840 円

工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・社会資本整備交付金事業 杉谷線道路改良工事	垂直壁工 A=82㎡ 舗装工 A=4,755㎡	H27.8.12～H28.3.3

○物件移転補償費 934,980 円

・水道移転 一式

○事務費 1,654,352 円



竣工（起点側）



竣工（終点側）

				決算事項別明細書			P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	48	中島津田平線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成25年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		15%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		66,000,000 円			目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。	
決 算 額 A		23,178,613 円					
財源内訳	国・県支出金	国1/2	8,506,080 円				
	地方債	過疎	14,600,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		72,533 円				
人件費コスト B		0.7人役	5,378,800 円	総事業費 A+B	28,557,413 円		

【事業内容】

本路線は、岩舟地区と市道津田平線を結ぶ路線であり、双方への往来に重要な路線であるが、幅員が狭く対面交差ができない区間が長くあり、安全性の高い道路として早急に整備する必要がある、幅員拡幅し、併せて線形改良を行っている。

- 工事請負費 17,012,160 円
- | 工 事 名                          | 工事概要                               | 工期（着工～実地完成）       |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------|
| ・道整備交付金事業<br>中島津田平線道路改良工事(その2) | 道路改良延長 L=39.8m<br>ボックスカルバート工 L=30m | H27.12.2～H28.6.29 |
- 土地購入費 1,049,625 円
- ・田 699.75 m<sup>2</sup>
- 物件移転補償費 5,116,828 円
- ・建物移転 1 件
- ※翌年度繰越額 42,820,000 円



着手前



竣工

【繰越明許】

決算事項別明細書				P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり		担当部署	土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備		予算科目	会計 01 一般会計
小事業	48	中島津田平線道路改良事業費			款 08 土木費
事業開始年度		平成25年度			項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		15%			目 03 道路新設改良費
予 算 額		0 円		目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。
決 算 額 A		46,657,581 円			
財源内訳	国・県支出金	国1/2	21,499,654 円		
	地方債	過疎	25,000,000 円		
	その他		0 円		
	一般財源		157,927 円		
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B	46,657,581 円

【事業内容】

本路線は、岩舟地区と市道津田平線を結ぶ路線であり、双方への往来に重要な路線であるが、幅員が狭く対面交差ができない区間が長くあり、安全性の高い道路として早急に整備する必要がある、幅員拡幅し、併せて線形改良を行っている。

- 工事請負費 14,760,360 円
 

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・道整備交付金事業	道路改良延長 L=37.3m	H27.9.15～H28.3.7
中島津田平線道路改良工事	法面工 A=699m <sup>2</sup>	
- 市道登記事務委託料 3,658,273 円
  - ・市道登記業務
- 土地購入費 13,228,507 円
  - ・田 5,600.53 m<sup>2</sup>
  - ・畑 1,515.86 m<sup>2</sup>
  - ・山林 3,735.82 m<sup>2</sup>
  - ・他 1,183.01 m<sup>2</sup>
- 物件移転補償費 15,010,441 円



着手前



竣工

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	51	橋りょう維持費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-				目	04 橋りょう維持費
予 算 額		60,210,000 円			目的	橋梁の点検・調査を実施し、修繕計画に基づく修繕費の平準化を計りつつ、老朽化した施設の維持・修繕等を行い橋梁の長寿命化を図る。	
決 算 額 A		58,860,630 円					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	29,235,168 円				
	地方債	過疎	4,100,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		25,525,462 円				
人件費コスト B		1.1人役	8,452,400 円		総事業費 A+B	67,313,030 円	

【事業内容】

橋梁の点検・調査を実施し、修繕計画に基づく修繕費の平準化を計りつつ、老朽化した施設の維持・修繕等を行い、橋梁の安全性を確認するとともに長寿命化を図った。

○設計委託料 1,649,160 円

- ・島根県橋梁アセットマネジメントシステム維持管理業務 システム維持管理 1式
- ・橋梁修繕工事設計図書作成業務 橋梁補修設計 N= 2橋

○道路橋りょう長寿命化点検調査委託料 20,027,520 円

- ・橋梁修繕調査業務 修繕調査設計 N= 2橋
- ・橋梁点検調査業務 点検調査設計 N=222橋

○工事請負費 36,039,600 円

- | 工事名             | 工事概要       | 工期（着工～実地完成）             |
|-----------------|------------|-------------------------|
| ・中津橋橋梁修繕工事（その2） | 橋脚修繕工 N=1基 | H27. 6. 4～ H27. 6. 30   |
| ・橋詰橋橋梁修繕工事      | 橋梁修繕 N=1箇所 | H27. 10. 6～ H28. 2. 15  |
| ・焼野橋橋梁修繕工事      | 橋梁修繕 N=1橋  | H27. 12. 15～ H28. 3. 15 |
| ・井出原橋橋梁修繕工事     | 橋梁修繕 N=1橋  | H27. 12. 15～ H28. 3. 15 |
| ・大田橋橋梁修繕工事      | 高欄修繕 L=70m | H28. 1. 26～ H28. 3. 15  |
| ・久白川橋梁修繕工事      | 高欄修繕 L=19m | H28. 3. 3～ H28. 3. 15   |

○システム運用負担金 1,144,350 円

【繰越明許】

決算事項別明細書			P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり	担当部署	土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	51	橋りょう維持費		款 08 土木費
事業開始年度		平成26年度		項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		—		目 04 橋りょう維持費
予 算 額		0 円		
決 算 額 A		12,862,360 円		
財源内訳	国・県支出金	国6/10	7,121,256 円	
	地方債	過疎	4,700,000 円	
	その他		0 円	
	一般財源		1,041,104 円	
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B 12,862,360 円

目的  
橋梁の点検・調査を実施し、修繕計画に基づく修繕費の平準化を計りつつ、老朽化した施設の維持・修繕等を行い橋梁の長寿命化を図る。

【事業内容】

橋梁の点検・調査を実施し、修繕計画に基づく修繕費の平準化を計りつつ、老朽化した施設の維持・修繕等を行い、橋梁の安全性を確認するとともに長寿命化を図った。

- 工事請負費 11,868,760 円
- | 工事名        | 工事概要         | 工期（着工～実地完成）    |
|------------|--------------|----------------|
| ・中津橋橋梁修繕工事 | 橋脚補修工<br>仮設工 | N= 一基<br>N= 一式 |
- 設計委託料 993,600 円
- | 業務名           | 業務概要   | 工期（着工～実地完成） |
|---------------|--------|-------------|
| ・安来大橋修繕詳細設計業務 | 伸縮装置設計 | N= 一式       |



着手前



竣工

決算事項別明細書					P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	55	下ノ原2号線道路改良事業費				款 08 土木費
事業開始年度		平成25年度				項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		75%				目 03 道路新設改良費
予 算 額		20,160,000 円			目的	総合文化ホール(アルテピア)建設予定地及び給食センター(ハッピークック)の外周道路を対面交通が可能な道路として整備する。
決 算 額 A		20,144,698 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債	合併	19,100,000 円			
	その他		0 円			
	一般財源		1,044,698 円			
人件費コスト B		0.6人役	4,610,400 円		総事業費 A+B	24,755,098 円

【事業内容】

建設を予定している総合文化ホール(アルテピア)及び給食センター(ハッピークック)の外周道路とこれに接続する周辺道路について一体的に整備を行うものであり、市道北側道・西赤江安来線と切川バイパスを接続する道路として、下ノ原2号線及び下ノ原町内線の整備を行っている。

○工事請負費 19,986,480 円

工事名	工事概要	工期(着工～実地完成)
・H27下ノ原2号線道路改良工事	道路改良延長 L= 348.9m 排水構造物工L=77m、防護柵工L=223m 舗装工A=796㎡、路盤工A=3,020㎡	H27. 5.20～ H28. 1.15
・H27下ノ原2号線道路改良工事(その2)	道路改良延長 L= 75m 路盤工A=128㎡、照明工一式	H28. 1. 6～ H28. 3.18
・H27下ノ原2号線道路改良工事(その3)	道路改良延長 L= 49m 排水構造物工 L= 49m	H28. 1. 6～ H28. 3.14

○物件移転補償費 158,218 円

・補償物件 一式



竣工 北側⇒南側



竣工 西側⇒東側

【繰越明許】

決算事項別明細書			P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり	担当部署	土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備	予算科目 会計 01 一般会計 款 08 土木費 項 02 道路橋りょう費 目 03 道路新設改良費	
小事業	55	下ノ原2号線道路改良事業費		
事業開始年度		平成25年度		
事業進捗度		75%		
予 算 額		0 円	目的 総合文化ホール（アルテピア）建設予定地及び給食センター（ハッピークック）の外周道路を対面交通が可能な道路として整備する。	
決 算 額 A		39,017,913 円		
財源内訳	国・県支出金	0 円		
	地方債	合併 37,000,000 円		
	その他	0 円		
	一般財源	2,017,913 円		
人件費コスト B	0.0人役	0 円	総事業費 A+B	39,017,913 円

【事業内容】

建設を予定している総合文化ホール(アルテピア)及び給食センター(ハッピークック)の外周道路とこれに接続する周辺道路について一体的に整備を行うものであり、市道北側道・西赤江安来線と切川バイパスを接続する道路として、下ノ原2号線及び下ノ原町内線の整備を行っている。

- 工事請負費 26,152,200 円
 

工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・下ノ原2号線道路改良工事	道路改良延長 L= 348.9m 盛土工V=1,500m <sup>3</sup> 、擁壁工L=127m 排水構造物工 L= 92m	H26. 8. 5～H27. 5. 29
・下ノ原2号線道路改良工事(その2)	道路改良延長 L= 131.9m 盛土工V=490m <sup>3</sup> 、排水構造物工L=191m 安定処理工 A= 771m <sup>2</sup>	H27. 2. 18～H27. 8. 31
- 土地購入費 11,569,713 円
 

・田	1,316.96 m <sup>2</sup>
・畑	159.77 m <sup>2</sup>
・雑種地	0.88 m <sup>2</sup>
- 登記事務委託料 1,296,000 円
  - ・分筆登記業務



着手前



竣工

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	59	木戸川東線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成22年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		55%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		53,200,000 円			目的	県事業である木戸川総合防災流域事業に併せ、既設橋改修を行い河川断面を確保する。また堤防沿いの現道を対面交通が可能な道路とする。	
決 算 額 A		50,235,197 円					
財源内訳	国・県支出金			0 円			
	地方債	合併	47,700,000 円				
	その他			0 円			
	一般財源			2,535,197 円			
人件費コスト B		0.8人役	6,147,200 円		総事業費 A+B	56,382,397 円	

【事業内容】

木戸川総合防災流域事業による河川改修工事との共同施行により、既設橋梁を洪水時の防災に対応した構造に改築し架け替える。併せて、堤防沿いの現道を市の道路改良事業により拡幅し、対面交通が可能な道路とする。

○工事請負費			12,740,760 円
工 事 名	工事概要		工期（着工～実地完成）
・木戸川東線道路改良工事	L=80m W=2.5m		H27. 8. 18～ H28. 3. 25
・木戸川東線道路改良(その2)工事	L=70m W=2.5m		H28. 3. 8～ H28. 3. 25
○土地購入費			26,414,560 円
・宅地	347.6 m <sup>2</sup>		
○物件移転補償費			6,929,877 円
・電柱等移転	3 件		
・水道移転	1 件		
○事務費			585,000 円
○県事業負担金費			3,565,000 円



着手前



竣工

					決算事項別明細書		P143
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		都市計画課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	61	都市計画総務費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		-				目	01 都市計画総務費
予 算 額		66,742,000 円			目的	健全で秩序ある都市の発展、適正な土地利用を図る。	
決 算 額 A		66,715,670 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	諸収入	23,700 円				
	一般財源	66,691,970 円					
人件費コスト B		3.2人役	24,588,800 円	総事業費 A+B		91,304,470 円	
<b>【事業内容】</b>		事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
委員報酬		152,500円	0円	0円	0円	152,500円	
・都市計画審議会委員報酬							
費用弁償		13,170円	0円	0円	0円	13,170円	
・都市計画審議会費用弁償							
使用料及び賃借料		171,000円	0円	0円	0円	171,000円	
・サイン看板敷地借上料							
負担金		499,000円	0円	0円	23,700円	475,300円	
・各種負担金							
補助金		65,880,000円	0円	0円	0円	65,880,000円	
・土地区画整理事業補助金							

				決算事項別明細書			P143
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		都市計画課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	62	住宅団地促進費				款	08 土木費
事業開始年度		平成12年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		-			目	01 都市計画総務費	
予 算 額		84,494,000 円			目的	分譲期間中、各種イベント・宣伝広告の実施及び環境整備などを行うことによって分譲促進を図る。	
決 算 額 A		84,447,503 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	使用料	59,247 円				
	一般財源	84,388,256 円					
人件費コスト B		2.0人役	15,368,000 円		総事業費 A+B	99,815,503 円	

【事業内容】

分譲を促進するためパンフレット・HP等による宣伝広告を行った。  
分譲地の環境整備を行った。  
分譲価格抑制の為、安来市土地開発公社に対して利子補給を行った。

- 安来市土地開発公社との協定に基づき、事業資金借入金支払利息の補給を行った。
  - ・利子補給額（安来市土地開発公社） 3,603,222 円
- 維持管理費 3,962,170 円
- 汐彩住宅団地分譲負担金 23,000,000 円
- 安来市土地開発公社との協定に基づき、分譲価格改定に伴う減収補てんを行った。
  - ・減収補てん金（安来市土地開発公社） 53,882,111 円

成果指標	目標値	実績値	差引
分譲区画数	20	1	△ 19

○ハーモニータウン汐彩分譲の状況

年度別分譲状況

年度	件数	面積 (㎡)	金額 (円)
H12	59	16,271.15	711,923,000
H13	10	2,545.72	114,293,000
H14	9	2,416.79	96,667,000
H15	8	2,326.05	103,742,000
H16	10	2,607.33	117,816,000
H17	19	4,424.68	160,519,000
H18	12	3,303.62	118,075,000
H19	4	1,011.87	44,437,000
H20	8	2,188.62	79,203,350
H21	3	744.61	27,207,960
H22	2	517.27	20,879,300
H23	0	0.00	0
H24	0	0.00	0
H25	6	1,581.94	70,229,700
H26	20	5,049.91	221,379,000
H27	1	221.87	10,845,300
計	171	45,211.43	1,897,216,610

残区画

区画	面積 (㎡)	金額 (円)
58	16,268.11	708,158,740

分譲区画合計

区画	面積 (㎡)	金額 (円)
229	61,479.54	2,605,375,350

				決算事項別明細書			P143
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	65	中海ふれあい公園整備事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		55%				目	01 都市計画総務費
予 算 額		1,041,500,000 円			目的	新たな公園の整備を行い、市民の交流の場と憩いのスペースを創設し、スポーツ振興および健康増進を図る。	
決 算 額 A		994,590,935 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債	合併	936,400,000 円				
	その他	基金	55,000,000 円				
	一般財源		3,190,935 円				
人件費コスト B		1.0人役	7,684,000 円		総事業費 A+B	1,002,274,935 円	

【事業内容】

島根県の所有地であった（仮称）中海ふれあい公園について、平成27年度に財産の移管を受け、安来市の新たな公園施設として整備を行っている。（面積：北工区約21ha、南工区約10ha）

【事業期間：平成27年度～平成30年度】

○土地・建物購入費 931,868,000 円

- ・土地購入（島根県） 258,826㎡
- ・建物購入（島根県） 1式

○工事請負費 23,753,600 円

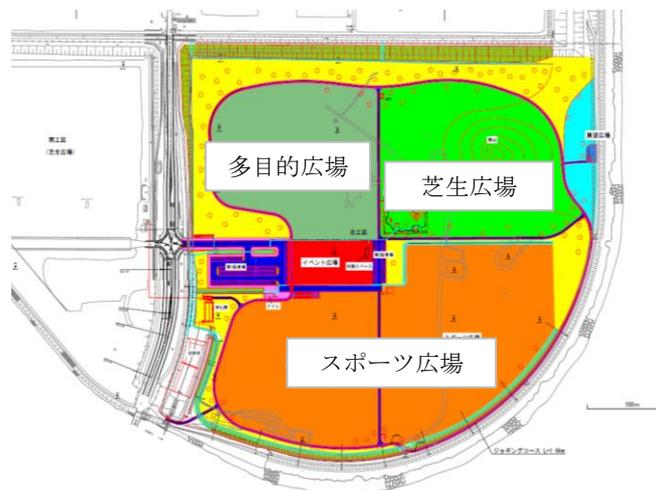
工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）
（仮称）中海ふれあい公園仮造成工事（A工区）	施工面積 A≒ 7.8ha	H28. 1. 19～H28. 6. 10
（仮称）中海ふれあい公園仮造成工事（B工区）	施工面積 A≒ 11.8ha	H28. 1. 19～H28. 6. 20

○測量・設計等委託料 37,140,120 円

- ・中海ふれあい公園測量業務
- ・中海ふれあい公園（仮称）実施設計業務
- ・中海ふれあい公園植栽維持管理業務 ほかに4件

○事務費等 1,829,215 円

- ・中海干拓地特別賦課金 ほかに



※翌年度繰越額 27,300,000 円

					決算事項別明細書		P143
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		国・県事業推進室
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	67	国・県事業推進費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		-				目	01 都市計画総務費
予 算 額		1,700,000 円			目的	国・県事業の推進を図る。	
決 算 額 A		1,573,747 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地 方 債		0 円				
	そ の 他		0 円				
	一 般 財 源		1,573,747 円				
人件費コスト B		1.0人役	7,684,000 円		総事業費 A+B	9,257,747 円	

【事業内容】

国事業及び県事業の推進にあたり、市や市民との連絡調整を図った。  
また、市や市民からの国県への要望事項を関係する国県機関へ連絡調整を図った。  
各協議会、期成同盟会へ参画し、インフラ整備等の事業推進・建設促進についての活動を行った。

○普通旅費 217,370 円

【内訳】	近距離旅費	9,350 円
	要望活動	2,200 円
	山陰道建設促進総決起大会・動員	7,700 円
	道路網整備先進地視察	140,940 円
	研修・講習会	57,180 円

○需用費 29,927 円

【内容】 事務用品、稟議印 等

○負担金 1,326,450 円

【内訳】	斐伊川水系治水期成同盟会	88,700 円
	松江安来新見間国道昇格期成同盟会	35,000 円
	山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会	162,000 円
	日本道路協会（特別会員会費）	30,000 円
	日本港湾協会（2級会員会費）	50,000 円
	島根県東部高速道路利用促進協議会	113,000 円
	島根県土木協会会費（都計・下水道部会費を除く）	522,000 円
	国道432号（松江・安来間）改良促進期成同盟会	150,000 円
	松江・安来・雲南圏域幹線道路改良整備促進期成同盟会	34,000 円
	全国治水砂防協会島根県支部会費	44,300 円
	中国国道協会会費	60,000 円
	国道432号改良促進期成同盟会	37,450 円

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	70	安来港飯島線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		5%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		28,250,000 円			目的	小中学校の通学路であるが、幅員が狭く歩道も未整備な箇所があるため、整備により児童生徒の通学時の安全を確保する。	
決 算 額 A		6,863,340 円					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	3,480,000 円				
	地 方 債	合併	2,400,000 円				
	そ の 他		0 円				
	一 般 財 源		983,340 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,610,400 円		総事業費 A+B	11,473,740 円	

【事業内容】

本路線は安来市内を東西に連絡する補助幹線道路である。当路線の沿道には中学校があり通学路として多数の児童・生徒が利用しているため、整備により児童生徒の通学時の安全を確保する。また、切川バイパス等とともに市街地と市役所や文化ホール等主要施設を結ぶ幹線道路ネットワークとして整備を行っていく。

工期（着工～実地完成）

H27. 12. 17～H28. 9. 30

○測量調査設計業務委託料

・安来港飯島線測量設計委託業務 5,800,000 円

測量業務 延長 L=500m 幅員 W=17.0m

設計業務 延長 L=500m 幅員 W=17.0m

○事務費 1,063,340 円

※翌年度繰越額 21,350,000 円

					決算事項別明細書		P141
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	73	山根1号線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		55%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		73,057,000 円			目的	安来市と松江市を結ぶ重要路線であり、事故・災害時等の国道9号線の交通渋滞緩和を図る。	
決 算 額 A		72,680,444 円					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	33,066,792 円				
	地方債	過疎	39,600,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		13,652 円				
人件費コスト B		1.2人役	9,220,800 円	総事業費 A+B		81,901,244 円	

【事業内容】

本路線は、県道広瀬荒島線と市道久白意東線を結ぶ路線である。また、安来市と松江市を結ぶ重要路線であり、国道9号線で事故・災害等により通行止めが生じた場合に、迂回路の機能を有する道路として整備を行っている。

○工事請負費 64,126,080 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・ 防災・安全交付金事業 山根1号線道路改良工事	道路改良延長 L=19m ボックスカルバート工 L=13.1m	H27. 6.12～ H27.10.30
・ 山根1号線道路改良（取付道路）工事	道路改良延長 L=20m 水路工 L=20m	H27. 8. 7～ H27.9.25
・ 防災・安全交付金事業 山根1号線道路改良（橋梁下部工）工事	橋台 N=1.0基	H27. 9.11～ H28.2.29
・ 山根1号線道路改良（取付道路その2）工事	道路改良延長 L=99m 水路工 L=99m	H28. 1.19～ H28.3.15

○測量調査設計業務委託料 2,808,000 円 工期（着工～実地完成）  
 ・ 山根1号線排水施設修正設計業務 H27. 7.28～ H28.3.15

○物件移転補償費 3,146,364 円  
 ・ 水利権消滅補償 11 件

○事務費 2,600,000 円



着手前



竣工

【繰越明許】

			決算事項別明細書			P141	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	土木建設課	
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計 01 一般会計	
小事業	73	山根1号線道路改良事業費				款 08 土木費	
事業開始年度		平成21年度				項 02 道路橋りょう費	
事業進捗度		55%				目 03 道路新設改良費	
予 算 額						0 円	
決 算 額 A						15,135,080 円	
財源内訳	国・県支出金	国6/10				8,833,248 円	
	地方債	過疎				6,000,000 円	
	その他					0 円	
	一般財源					301,832 円	
人件費コスト B		0.0人役				0 円	
					総事業費 A+B	15,135,080 円	
目的							安来市と松江市を結ぶ重要路線であり、事故・災害時等の国道9号線の交通渋滞緩和を図る。

【事業内容】

本路線は、県道広瀬荒島線と市道久白意東線を結ぶ路線である。また、安来市と松江市を結ぶ重要路線であり、国道9号線で事故・災害等により通行止めが生じた場合に、迂回路の機能を有する道路として整備を行っている。

- 工事請負費 14,722,080 円
 

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・防災・安全交付金事業	L=40m	H26.12.19～H27.6.30
山根1号線道路改良工事	W=9.75m	
- 事務費 413,000 円



着手前



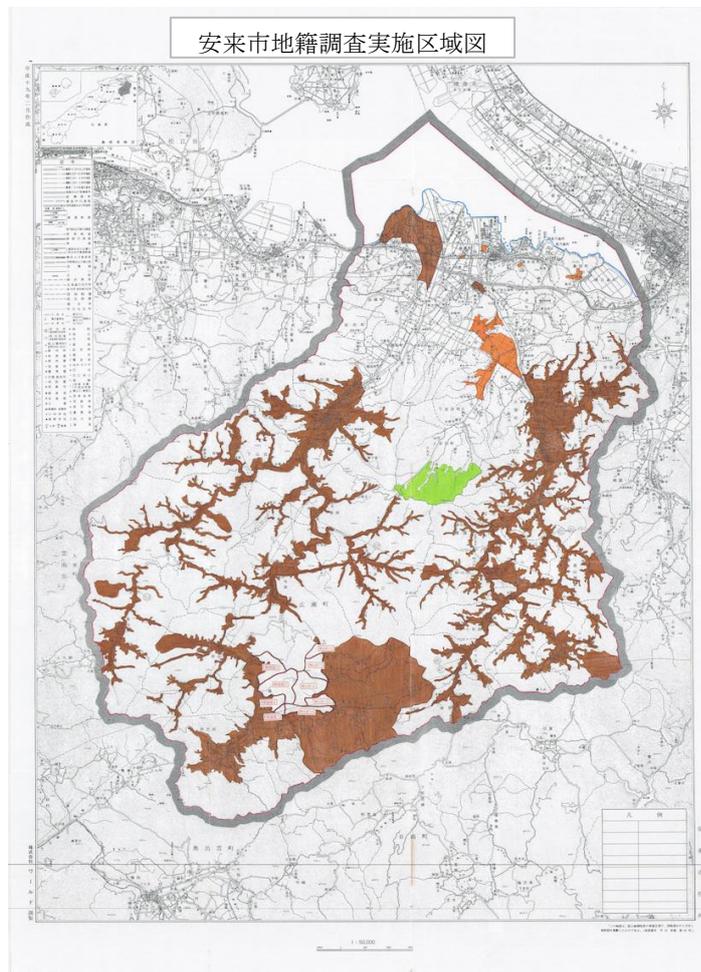
竣工

				決算事項別明細書			P149
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		都市計画課
中事業	10	道路ネットワークの整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	82	地籍調査費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	07 用地管理費
事業進捗度		-				目	01 用地管理費
予 算 額		49,471,000 円			目的	土地の権利を明確化することにより、境界紛争や境界の不明確化を防ぐとともに、固定資産課税の適正化、公共事業の円滑化を図る。	
決 算 額 A		48,782,025 円					
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県1/4	34,950,000 円				
	地方債		0 円				
	その他	諸収入	8,424 円				
	一般財源		13,823,601 円				
人件費コスト B		2.3人役	17,673,200 円		総事業費 A+B	66,455,225 円	

【事業内容】

安来市の地籍調査は概ね現地調査着手から登記完了まで3年で行っており、1年目に現地調査を行い、2年目に成果である地籍簿・地籍図の作成、3年目に登記となっている。

安来市の地籍調査対象面積は387.07km<sup>2</sup>（公有水面等を除く）で、平成27年度末調査完了面積（2年目完了面積）は89.44km<sup>2</sup>（圃場整備等含む）。進捗率23.11%となった。



成果指標	目標値	実績値	差引
進捗率	23%	23%	0

					決算事項別明細書		P143
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	20	水環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	11	河川総務費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	03 河川費
事業進捗度		-				目	01 河川総務費
予 算 額		40,287,000 円			目的	河川の草刈や土砂浚渫を行い、防災対策にあわせ環境美化を図る。浸水の予防・高潮対策として排水樋門の点検・操作を行う。	
決 算 額 A		33,292,280 円					
財源内訳	国・県支出金	国	12,205,983 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		21,086,297 円				
人件費コスト B		0.8人役	6,147,200 円		総事業費 A+B	39,439,480 円	

【事業内容】

河川の草木の刈払いや土砂浚渫を行い、防災対策にあわせ環境美化を図った。また、浸水の予防・高潮対策として、排水樋門の点検・操作を行った。

- 工事請負費 2,484,000 円
 

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・福井団地排水ポンプ修繕工事	修繕工事 N=一式	H27. 7.16～H27. 9.16
- 河川浄化対策委託料 22,274,060 円
 

・自治会等委託	44件
・業者委託	6件
- 高潮対策等委託料 5,165,640 円
 

・西宮須高潮対策業務
・南十神地区他高潮対策業務
- 浄化槽保守点検委託料 55,080 円
 

・飯梨川公衆便所浄化槽維持管理業務
-------------------
- 河川管理施設操作等手数料 3,288,173 円
 

・国土交通省	樋門 26基、樋管 2基、閘門 5基
・島根県	樋門 5基
・安来市	樋門 4基
- その他 25,327 円

					決算事項別明細書		P145																								
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課																								
中事業	20	水環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計																								
小事業	16	下水路改良費				款	08 土木費																								
事業開始年度		平成27年度				項	04 都市計画費																								
事業進捗度		-				目	03 都市下水路費																								
予 算 額		7,000,000 円			目的	雨水・生活雑排水の汚臭及び流水の沈滞をなくし、快適な生活環境づくりを図る。																									
決 算 額 A		6,994,380 円																													
財源内訳	国・県支出金	0 円																													
	地方債	0 円																													
	その他	0 円																													
	一般財源	6,994,380 円																													
人件費コスト B		0.4人役	3,073,600 円	総事業費 A+B	10,067,980 円																										
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>まちづくりの基盤となる生活環境保全を図るとともに、雨水及び生活雑排水の汚臭並びに流水の沈滞を解消するため、市民生活に密着した下水路の整備に取り組む。本年度は中でも緊急性・重要性が高い箇所と、継続して工事を進めている神塚下水路の整備を行った。</p> <p>○工事請負費 5,226,120 円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名</th> <th>工事概要</th> <th>工期（着工～実地完成）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・赤崎下水路工事</td> <td>水路工 L= 76m</td> <td>H27. 5. 29～ H27. 8. 24</td> </tr> <tr> <td>・神塚下水路工事</td> <td>水路工 L= 27m</td> <td>H27. 6. 5～ H27. 8. 31</td> </tr> <tr> <td>・宮中川下水路工事</td> <td>水路工 L=18.9m</td> <td>H27. 9. 15～ H27. 11. 6</td> </tr> <tr> <td>・赤崎35号線下水路工事</td> <td>水路工 L=10.8m</td> <td>H28. 3. 11～ H28. 3. 28</td> </tr> </tbody> </table> <p>○測量委託料 768,960 円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業 務 名</th> <th>業務概要</th> <th>工期（着工～実地完成）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鳥木下水路他測量調査業務</td> <td>地形測量 A=30㎡ 路線測量 L=250m</td> <td>H27. 6. 17～ H27. 9. 30</td> </tr> <tr> <td>・鳥木下水路他設計業務</td> <td>設計業務 L=0.22Km</td> <td>H27. 8. 12～ H27. 11. 30</td> </tr> </tbody> </table> <p>○物件移転補償費 999,300 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管移転補償（赤崎下水路） 1件</li> </ul>								工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）	・赤崎下水路工事	水路工 L= 76m	H27. 5. 29～ H27. 8. 24	・神塚下水路工事	水路工 L= 27m	H27. 6. 5～ H27. 8. 31	・宮中川下水路工事	水路工 L=18.9m	H27. 9. 15～ H27. 11. 6	・赤崎35号線下水路工事	水路工 L=10.8m	H28. 3. 11～ H28. 3. 28	業 務 名	業務概要	工期（着工～実地完成）	・鳥木下水路他測量調査業務	地形測量 A=30㎡ 路線測量 L=250m	H27. 6. 17～ H27. 9. 30	・鳥木下水路他設計業務	設計業務 L=0.22Km	H27. 8. 12～ H27. 11. 30
工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）																													
・赤崎下水路工事	水路工 L= 76m	H27. 5. 29～ H27. 8. 24																													
・神塚下水路工事	水路工 L= 27m	H27. 6. 5～ H27. 8. 31																													
・宮中川下水路工事	水路工 L=18.9m	H27. 9. 15～ H27. 11. 6																													
・赤崎35号線下水路工事	水路工 L=10.8m	H28. 3. 11～ H28. 3. 28																													
業 務 名	業務概要	工期（着工～実地完成）																													
・鳥木下水路他測量調査業務	地形測量 A=30㎡ 路線測量 L=250m	H27. 6. 17～ H27. 9. 30																													
・鳥木下水路他設計業務	設計業務 L=0.22Km	H27. 8. 12～ H27. 11. 30																													

決算事項別明細書						P145
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	下水道課
中事業	20	水環境整備の促進			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	21	特別会計繰出金費（公共下水道事業）				款 08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項 05 下水道費
事業進捗度		-				目 01 下水道費
予 算 額		479,663,000 円			目的	特別会計繰出金（公共下水道事業）
決 算 額 A		476,400,000 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	476,400,000 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	476,400,000 円
特別会計繰出金（公共下水道事業）						

決算事項別明細書						P147
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	下水道課
中事業	20	水環境整備の促進			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	22	特別会計繰出金費（特定環境保全公共下水道事業）				款 08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項 05 下水道費
事業進捗度		-				目 01 下水道費
予 算 額		111,562,000 円			目的	特別会計繰出金（特定環境保全公共下水道事業）
決 算 額 A		109,300,000 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	109,300,000 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	109,300,000 円
特別会計繰出金（特定環境保全公共下水道事業）						

					決算事項別明細書		P91
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		情報政策課
中事業	30	地域情報化の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	11	電子計算事務費				款	02 総務費
事業開始年度		平成27年度				項	01 総務管理費
事業進捗度		-			目	09 電子計算費	
予 算 額		445,095,000 円			目的	地域イントラ総合行政システム及び地域イントラネットを適正に管理する。	
決 算 額 A		444,437,201 円					
財源内訳	国・県支出金	国	27,923,000 円				
	地方債	補助施設	8,200,000 円				
	その他	負担金	1,432,752 円				
	一般財源		406,881,449 円				
人件費コスト B		2.6人役	19,978,400 円		総事業費 A+B	464,415,601 円	
<b>【事業名称】</b>		<b>事業費</b>	<b>国・県支出金</b>	<b>地方債</b>	<b>その他</b>	<b>一般財源</b>	
<b>【総合行政システムリース料・使用料】</b>		65,284,020円	0円	0円	0円	65,284,020円	
平成23年度に更新した総合行政システムのリース料及び使用料を支払った。 なお、主要なソフトウェアは月額使用料方式により調達し、その他一部のソフトウェアとハードウェアをリース(5年間)により調達した。							
<b>【総合行政システム管理事業】</b>		48,203,748円	0円	0円	1,432,752円	46,770,996円	
総合行政システムの適切な保守管理に努めた。 また、各担当課の担当者と委託業者との連絡調整に努めたとともに、バッチ処理等による一括処理の実施や運用支援を行った。							
<b>【地域イントラネット管理事業】</b>		70,031,810円	0円	0円	0円	70,031,810円	
市の情報インフラである地域イントラネットの適切な保守管理に努めた。 市及び関係機関が情報発信・提供するためのホームページの適切な保守管理に努めた。 市及び関係機関内で情報を共有するため、グループウェアを有効活用した。							
<b>【地域イントラネット通信環境整備事業】</b>		84,478,270円	0円	0円	0円	84,478,270円	
地域イントラネット網について、通信費節減のため自営線への切替を行った。							
<b>【社会保障・税番号システム整備事業】</b>		74,283,720円	27,923,000円	0円	0円	46,360,720円	
社会保障・税番号制度対応のためのシステム整備を行った。							
<b>【マイナンバー対応セキュリティ強化事業】</b>		59,368,763円	0円	8,200,000円	0円	51,168,763円	
社会保障・税番号制度の開始により求められるセキュリティ強化を行った。							
<b>【証明書コンビニ交付事業】</b>		33,242,400円	0円	0円	0円	33,242,400円	
個人番号カードを利用した証明書等コンビニ交付システムの共同開発を行った。							
<b>【住基ネットワークシステム機器更新事業】</b>		648,000円	0円	0円	0円	648,000円	
住基ネットワークシステムの保守管理を行った。							
<b>【LGWAN関連機器管理等事業】</b>		765,972円	0円	0円	0円	765,972円	
LGWAN(地方公共団体情報システム機構が運営する総合行政ネットワーク)への接続に必要な機器の適切な保守管理に努めた。							

【パソコン等管理事業】	5,132,039円	0円	0円	0円	5,132,039円
0A用PCの経年劣化とOSサポート切れに対応するため、PC更新とOS等入替を行った。(49台)					
【しまね電子申請サービス事業】	591,819円	0円	0円	0円	591,819円
島根県電子自治体共同利用システム運営協議会が運営するしまね電子申請サービスを活用した。					
【情報セキュリティ等研修事業】	2,406,640円	0円	0円	0円	2,406,640円
地方公共団体情報システム機構が主催する情報セキュリティ研修に参加した。 職員が他自治体の動向等の情報収集に利用するため、時事通信社による自治体向け情報サービスの提供を受けた。					

決算事項別明細書					P95	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	情報政策課
中事業	30	地域情報化の促進			予算科目 会計 01 一般会計 款 02 総務費 項 01 総務管理費 目 14 地域情報化推進費	目的 安来市情報ネットワーク施設の維持管理並びに、行政告知放送の利活用促進及び情報通信網の利活用の検討を行う。
小事業	14	地域情報化推進事業費				
事業開始年度		平成27年度				
事業進捗度		—				
予 算 額		21,277,000 円			目的 安来市情報ネットワーク施設の維持管理並びに、行政告知放送の利活用促進及び情報通信網の利活用の検討を行う。	
決 算 額 A		20,347,666 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	財産収入外	1,086,108 円			
	一般財源	19,261,558 円				
人件費コスト B		1.7人役	13,062,800 円	総事業費 A+B	33,410,466 円	
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
【ブロードバンド・インフラ整備事業】	9,558,000円	0円	0円	0円	9,558,000円	
飯島町地内新規住宅造成地等のブロードバンド通信線の不足を解消するため、光ケーブルを敷設するとともに、センター局舎に光アンプを設置した。						
【視覚的告知システム構築】	2,472,460円	0円	0円	0円	2,472,460円	
耳の聞こえに不安のある方に、市からの情報を的確に伝達するため、情報ネットワーク網を活用したシステム開発及び、試験的運用を通じた機能強化を図るとともに、独居高齢者などの見守り機能を加えたシステムとして実用化に向けたシステム開発、検証を行った。						
【告知端末設置委託業務】	2,303,478円	0円	0円	0円	2,303,478円	
新築等による新規の告知端末設置業務を委託実施した。						
【防災情報ステーション等回線使用】	1,892,160円	0円	0円	0円	1,892,160円	
避難所施設等に設置された防災情報ステーション等（73カ所）の回線使用料を支払った。						
【安来電線共同溝建設負担金】	246,240円	0円	0円	0円	246,240円	
国道9号の電線共同溝事業（電線等の地下埋設）の実施に当たり、事業主体（国）へ負担金を支払った。						
【CATV視聴料減免補助】	253,530円	0円	0円	0円	253,530円	
テレビ難視聴地域に居住し、経済的理由でケーブルテレビへの加入困難な世帯に、ケーブルテレビ利用料の一部を補助した。（補助率：市3/8、CATV事業者3/8）						
【その他】	3,621,798円	0円	0円	1,086,108円	2,535,690円	
情報通信施設管理費ほか						

				決算事項別明細書			P119
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		市民課
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	11	火葬場費				款	04 衛生費
事業開始年度		平成27年度				項	01 保健衛生費
事業進捗度		-				目	04 火葬場費
予 算 額		30,689,000 円			目的	安来市斎場独松山霊苑での火葬等（死体、改葬遺骨、胎盤肢体等）を必要とする住民等に対し、公衆衛生、公共の福祉の見地から、火葬業務の委託及び施設の管理を行う。	
決 算 額 A		29,547,260 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	使用料外	15,444,737 円				
	一般財源	14,102,523 円					
人件費コスト B		0.1人役	768,400 円		総事業費 A+B	30,315,660 円	

【事業内容】

火葬業務の委託及び火葬施設・式場施設及びその附属施設等の管理運営を行った。  
 施設の管理においては、定期的な清掃・検査に加え、火葬炉耐火物積替による、  
 火葬炉設備の修繕等を行い、施設の整備安全管理に努めた。

○ 平成27年度斎場使用状況

- ・火葬件数 606件〔死体（胎）595件、胎盤肢体等の焼却 11件、改葬0件〕
- ・施設使用件数 3件

○ 事業費内訳

節	平成27年度決算額
賃金	62,000円
需用費	16,636,315円
役務費	258,706円
委託料	12,272,887円
使用料及び賃借料	49,080円
器具費	268,272円
計	29,547,260円

○ 平成27年度火葬業務委託契約について

契約年月日 平成25年1月30日  
 変更契約年月日 平成26年4月1日  
 委託期間 平成25年4月1日～平成28年3月31日  
 委託金額 年額10,092,600円（平成25年度）  
 年額10,380,960円（平成26年度） 総額 30,854,520円  
 年額10,380,960円（平成27年度）

相手方 大新東株式会社 松江支店

					決算事項別明細書			P121	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		環境政策課		
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	16	清掃総務費				款	04	衛生費	
事業開始年度		平成27年度				項	02	清掃費	
事業進捗度		-				目	01	清掃総務費	
予 算 額		63,000 円			目的	清掃審議会を開催し、清掃料金に関する調査、審議を行う。			
決 算 額 A		18,624 円							
財源内訳	国・県支出金	0 円							
	地方債	0 円							
	その他	手数料	800 円						
	一般財源		17,824 円						
人件費コスト B		0.1人役	768,400 円		総事業費 A+B		787,024 円		
<b>【事業内容】</b> 清掃業務審議会にむけて、情報収集を行った。  清掃業務審議会 委員：7名 審議会の開催：無									

					決算事項別明細書			P121	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		環境政策課		
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	21	塵芥処理費				款	04	衛生費	
事業開始年度		平成27年度				項	02	清掃費	
事業進捗度		-				目	02	塵芥処理費	
予 算 額		178,733,000 円			目的	一般廃棄物を円滑に収集し、適正に処理を行う。			
決 算 額 A		174,484,832 円							
財源内訳	国・県支出金	0 円							
	地方債	0 円							
	その他	手数料外	76,722,146 円						
	一般財源		97,762,686 円						
人件費コスト B		1.7人役	13,062,800 円		総事業費 A+B		187,547,632 円		
<b>【事業名称】</b>									
		事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
<b>【一般廃棄物収集運搬事業】</b>		160,851,539円	0円	0円	65,068,760円	95,782,779円			
		市内で発生した一般廃棄物を円滑に分別収集を行った。 不法投棄パトロールを実施し、不法投棄の未然防止を図った。 ごみ収集指定袋を作製し、取扱店で販売を行った。							
<b>【資源ごみ再生処理事業】</b>		12,839,293円	0円	0円	11,653,386円	1,185,907円			
		収集した廃棄物のリサイクルの推進を図るため、再資源化処理を行った。							
<b>【廃棄物集積場設置整備補助事業】</b>		794,000円	0円	0円	0円	794,000円			
		分別収集を効率的に実施するため、自治会が設置する集積場の補助を行った。 補助金交付件数 11件 補助率：2分の1 (上限 同一施設につき1回目9万円、2回目5万円)							

						決算事項別明細書		P121		
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		環境政策課		
中事業	40	生活環境整備の促進				予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	22	ごみ焼却場施設運営費					款	04	衛生費	
事業開始年度		平成27年度					項	02	清掃費	
事業進捗度		-					目	02	塵芥処理費	
予 算 額		293,457,000 円				目的	可燃ごみの適正な処理を行う。			
決 算 額 A		286,574,579 円								
財源内訳	国・県支出金	0 円								
	地方債	0 円								
	その他	手数料	37,773,690 円							
	一般財源		248,800,889 円							
人件費コスト B		1.7人役	13,062,800 円		総事業費 A+B		299,637,379 円			
<b>【事業内容】</b> 可燃ごみの適正な処理のため、円滑な積替え運搬業務、適正な施設管理及び民間業者に焼却処理業務の委託を行った。 可燃ごみ処理量 8,584.64 t										

						決算事項別明細書		P121		
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		環境政策課		
中事業	40	生活環境整備の促進				予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	23	粗大ごみ処理施設運営費					款	04	衛生費	
事業開始年度		平成27年度					項	02	清掃費	
事業進捗度		-					目	02	塵芥処理費	
予 算 額		42,146,000 円				目的	施設へ搬入された廃棄物を選別、破碎及び圧縮処理を行い、資源化を図るとともに埋立ごみの減量化を推進する。			
決 算 額 A		41,756,891 円								
財源内訳	国・県支出金	0 円								
	地方債	0 円								
	その他	手数料	2,622,500 円							
	一般財源		39,134,391 円							
人件費コスト B		0.6人役	4,610,400 円		総事業費 A+B		46,367,291 円			
<b>【事業内容】</b> 高尾クリーンセンター、広瀬一般廃棄物最終処分場及び伯太一般廃棄物最終処分場へ搬入される分別ごみ及び粗大ごみの適正な選別、破碎、圧縮処理を行い資源化を図った。										

						決算事項別明細書		P121		
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		環境政策課		
中事業	40	生活環境整備の促進				予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	24	埋立処分地施設運営費					款	04	衛生費	
事業開始年度		平成27年度					項	02	清掃費	
事業進捗度		-					目	02	塵芥処理費	
予 算 額		10,855,000 円				目的	埋立処分場並びに浸出水処理施設の適正な維持管理を行う。			
決 算 額 A		10,617,288 円								
財源内訳	国・県支出金	0 円								
	地方債	0 円								
	その他	使用料	8,286 円							
	一般財源		10,609,002 円							
人件費コスト B		0.6人役	4,610,400 円		総事業費 A+B		15,227,688 円			
<p><b>【事業内容】</b>  クリーンセンター穂日島、広瀬一般廃棄物最終処分場及び伯太一般廃棄物最終処分場の適正な埋立処理を行い、浸出水処理施設の適正な管理を行った。</p>										

						決算事項別明細書		P121									
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		環境政策課									
中事業	40	生活環境整備の促進				予算科目	会計	01	一般会計								
小事業	25	ごみ減量化・資源化推進費					款	04	衛生費								
事業開始年度		平成27年度					項	02	清掃費								
事業進捗度		-					目	02	塵芥処理費								
予 算 額		772,000 円				目的	分別収集を推進し、ごみの減量化、資源化の促進を図る。										
決 算 額 A		343,281 円															
財源内訳	国・県支出金	0 円															
	地方債	0 円															
	その他	0 円															
	一般財源		343,281 円														
人件費コスト B		0.5人役	3,842,000 円		総事業費 A+B		4,185,281 円										
<p><b>【事業内容】</b>  ごみ減量化を推進するため、家庭で設置する生ごみ処理機の補助を行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助内容</td> <td style="width: 30%;">電源を必要とするもの</td> <td style="width: 10%;">7件</td> <td style="width: 30%;">補助率：3分の1（上限25千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源を必要としないもの</td> <td>11件</td> <td>補助率：2分の1（上限5千円）</td> </tr> </table>										補助内容	電源を必要とするもの	7件	補助率：3分の1（上限25千円）		電源を必要としないもの	11件	補助率：2分の1（上限5千円）
補助内容	電源を必要とするもの	7件	補助率：3分の1（上限25千円）														
	電源を必要としないもの	11件	補助率：2分の1（上限5千円）														

					決算事項別明細書		P121
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		環境政策課
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	27	廃棄物処理施設整備事業費				款	04 衛生費
事業開始年度		平成27年度				項	02 清掃費
事業進捗度		-				目	02 塵芥処理費
予 算 額		17,166,000 円			目的	廃棄物処理施設を計画的に整備していく。	
決 算 額 A		16,293,980 円					
財源内訳	国・県支出金			0 円			
	地方債			0 円			
	その他	基金	9,990,000 円				
	一般財源		6,303,980 円				
人件費コスト B		1.0人役	7,684,000 円		総事業費 A+B	23,977,980 円	
<b>【事業内容】</b> 各廃棄物処理施設整備工事を行った。 委員謝礼（安来市可燃ごみ焼却に関する検討委員会） 560,000 円 費用弁償（安来市可燃ごみ焼却に関する検討委員会） 263,990 円 委託料（可燃ごみ焼却処理委託事業者順位付け支援業務） 5,151,600 円 工事請負費（清瀬クリーンセンター：投入ホップ補修、トラックスケール更新） 5,136,480 円 工事請負費（高尾クリーンセンター：破砕機他補修） 4,860,000 円							

					決算事項別明細書		P121
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		環境政策課
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	31	し尿処理施設運営費				款	04 衛生費
事業開始年度		平成27年度				項	02 清掃費
事業進捗度		-				目	03 し尿処理費
予 算 額		100,237,000 円			目的	し尿、浄化槽汚泥を適正に処理し、環境負荷の低減を図る。	
決 算 額 A		94,843,063 円					
財源内訳	国・県支出金			0 円			
	地方債			0 円			
	その他	基金外	15,001,260 円				
	一般財源		79,841,803 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,610,400 円		総事業費 A+B	99,453,463 円	
<b>【事業内容】</b> し尿処理施設の管理業務を委託し、し尿、浄化槽汚泥の適正な処理を行った。 処理量内訳 し尿 4,327kℓ 浄化槽汚泥 7,214kℓ							

					決算事項別明細書		P145
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		土木建設課
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	36	公園管理費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		-				目	02 公園費
予 算 額		25,115,000 円			目的	公園・緑地の維持管理と施設の修繕等を行い、市民の憩い・交流の場を創出し、うるおいある生活空間の確保に努める。	
決 算 額 A		23,221,371 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	基金外	20,240,850 円				
	一般財源	2,980,521 円					
人件費コスト B		0.6人役	4,610,400 円	総事業費 A+B	27,831,771 円		

【事業内容】

約50箇所の公園・緑地の維持管理に併せ、各施設の改修・修繕を行い、市民の憩い・交流の場の維持管理に努めた。

○施設状況

- ・都市公園 6 箇所
- ・児童遊園 10 箇所
- ・緑地広場 27 箇所
- ・その他公園 6 箇所

○工事請負費 3,798,360 円

工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・東十神公園他フェンス修繕工事	フェンス修繕 N=2箇所	H27.12.25～H28.3.11
・安来公園歩道修繕工事	舗装工 N=6箇所	H28.1.14～H28.2.19
・三日月公園他遊具修繕工事	遊具修繕 N=3施設	H28.1.8～H28.2.29
・安来運動公園照明灯修繕工事	照明灯修繕 N=2基	H28.2.19～H28.3.22

○委託料 15,148,640 円

- ・都市公園・児童遊園地遊具定期点検業務
- ・三日月公園便所清掃業務
- ・三日月公園浄化槽維持管理業務
- ・十神山なぎさ公園浄化槽維持管理業務
- ・市民広場緑地他維持管理業務
- ・汐彩公園他植栽維持管理業務
- ・三日月公園植栽維持管理業務
- ・飯島工業団地緑地維持管理業務
- ・安来公園桜樹維持管理業務
- ・三日月公園ふれあい館清掃業務
- ・安来公園指定管理
- ・安来運動公園指定管理
- ・広瀬中央公園指定管理

○その他 4,274,371 円

- ・公園施設に係るその他維持管理費

				決算事項別明細書			P147
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		建築住宅課
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	46	住宅管理費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	06 住宅費
事業進捗度		-			目	01 住宅管理費	
予 算 額		41,459,000 円			目的	社会経済情勢の変化により多様化・増加する住宅困窮者に対する住宅セーフティネットとしての役割を担うため公営住宅を柱とし、所得層やニーズに応じた各種の市営住宅を供給し維持管理や環境整備を適正に行い、入居者の快適な住環境を確保する。	
決 算 額 A		41,170,307 円					
財源内訳	国・県支出金	国	1,398,000 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料外	10,363,593 円				
一般財源		29,408,714 円					
人件費コスト B		3.2人役	24,588,800 円		総事業費 A+B	65,759,107 円	

市営住宅667戸（公営住宅485戸、特公賃住宅38戸、改良住宅40戸、単独住宅10戸、公社住宅94戸）の管理運営を、主に住宅使用料118,000千円、駐車場使用料7,276千円を財源として行った。

また、老朽化と共に発生する修繕関係に22,977千円（修繕費・工事費）を支出し、使用料等の趣旨に沿って有効な歳出を図り、滞納者問題も含めて家賃徴収に力を注いだ。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【住宅修繕事業】	22,977,734円	0円	0円	9,572,850円	13,404,884円

○主な維持修繕工事費

- ・市営住宅糺団地修繕工事（A-491、A-493） 1,728,000 円
- ・柳団地E棟住戸修繕工事 1,274,400 円
- ・市営和田団地修繕工事 648,000 円
- ・安田団地B棟外壁補修他工事 648,000 円

【住宅家賃収納事業】	3,939,336円	0円	0円	64,368円	3,874,968円
------------	------------	----	----	---------	------------

滞納者への指導、徴収を強化し更に現年分完納に向け家賃収納に力を注いだ。

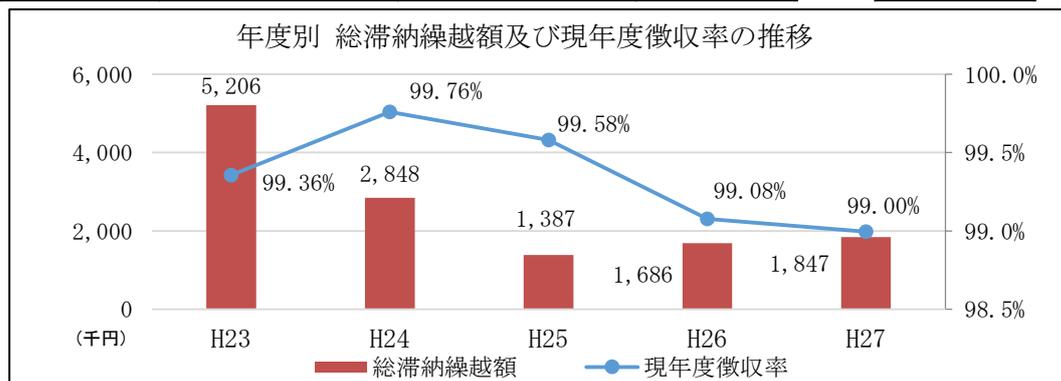
成果指標	目標値	実績値	差引
総滞納繰越額	1,100千円以下	1,846,568	746,568
現年度徴収率	99%以上	99.00%	0

○住宅使用料

区分	調定金額	収入金額	徴収率	対前年度比
現年度分	119,201,100 円	118,003,510 円	99.00%	△0.08%
過年度分	1,685,888 円	1,036,910 円	61.51%	25.17%
合計	120,886,988 円	119,040,420 円	98.47%	0.09%

○駐車場使用料

区分	調定金額	収入金額	徴収率	現年度分合計徴収率
現年度分	7,246,810 円	7,246,810 円	100.00%	99.05%



【住宅管理事業】	14,253,237円	1,398,000円	0円	726,375円	12,128,862円
----------	-------------	------------	----	----------	-------------

市営住宅の円滑な維持管理や入退去管理等を行い、居住の安定と定住の促進を図った。

				決算事項別明細書			P147																																																																																																																																
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	建築住宅課																																																																																																																																	
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計																																																																																																																																
小事業	47	建築指導費				款	08 土木費																																																																																																																																
事業開始年度		平成27年度				項	06 住宅費																																																																																																																																
事業進捗度		-			目	01 住宅管理費																																																																																																																																	
予 算 額		16,209,000 円			目的	適切な指導と監督を行うことにより、安来市の建築行政の健全な発展と秩序ある良好な住環境の形成に努める。地震に強いまちづくりを目指し耐震化の促進に努める。																																																																																																																																	
決 算 額 A		15,294,086 円																																																																																																																																					
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県	3,319,000 円																																																																																																																																				
	地方債		0 円																																																																																																																																				
	その他	手数料外	992,160 円																																																																																																																																				
	一般財源		10,982,926 円																																																																																																																																				
人件費コスト B	4.1人役	31,504,400 円		総事業費 A+B	46,798,486 円																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【建築確認事務】</td> <td>3,174,086円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>992,160円</td> <td>2,181,926円</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築指導の各種業務においては、建築物における適法性が確保されるよう、確認申請を受けた建築物で完了検査申請の未済な物件について、完了検査を行うよう通知を行ったり、巡回パトロールにより強化を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完了検査申請件数/確認申請件数 (%) (14件/14件)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※当該年度の確認申請提出物件に対して工事完了している件数</p> <p>【屋外広告物事務】</p> <p>屋外広告物等における適法性が確保されるよう、届出の提出を徹底し、年2回のパトロールに加え、建築物の完了検査時におけるパトロールを実施するなどして条例に対する違反行為の撲滅に努めている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適切な計画と認め許可する件数/届出件数 (%) (124件/124件)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【木造住宅耐震診断事業】</th> <th>120,000円</th> <th>30,000円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>90,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">木造住宅の耐震化の促進のため、木造住宅の耐震診断を行う者に対し、その費用の一部を助成。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">◇昭和56年5月31日以前に着工された階数2階以下の木造住宅</td> </tr> <tr> <td colspan="6">・耐震診断に要する費用の10分の9に相当する額で、6万円を上限</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断実施者数 (件)</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>△ 8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【木造住宅耐震改修事業】</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">木造住宅 (昭和56年5月31日以前に着工、階数2階以下) の耐震診断を行い上部構造評点が</td> </tr> <tr> <td colspan="6">1. 0未満と判定された住宅の耐震改修工事を行う者に対し、その費用の一部を助成。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">・耐震補強設計に要する費用の3分の2に相当する額で、40万円を上限</td> </tr> <tr> <td colspan="6">・耐震改修工事に要する費用(32,600/㎡を限度)の2分の1に相当する額で、80万円を上限</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震補強設計助成実施者数(件)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>△ 3</td> </tr> <tr> <td>耐震改修助成実施者数(件)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>△ 3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【安来地域材活用住宅普及事業】</th> <th>12,000,000円</th> <th>3,289,000円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>8,711,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">地域材を利用した住宅の新築工事等を行う者に対し、その費用の一部を助成。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">・補助対象工事に要する費用の10分の1に相当する額で、100万円を上限</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域材活用実施者数 (件)</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>△ 3</td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【建築確認事務】	3,174,086円	0円	0円	992,160円	2,181,926円	成果指標	目標値	実績値	差引	完了検査申請件数/確認申請件数 (%) (14件/14件)	100	100	0	成果指標	目標値	実績値	差引	適切な計画と認め許可する件数/届出件数 (%) (124件/124件)	100	100	0	【木造住宅耐震診断事業】	120,000円	30,000円	0円	0円	90,000円	木造住宅の耐震化の促進のため、木造住宅の耐震診断を行う者に対し、その費用の一部を助成。						◇昭和56年5月31日以前に着工された階数2階以下の木造住宅						・耐震診断に要する費用の10分の9に相当する額で、6万円を上限							目標値	実績値	差引	耐震診断実施者数 (件)	10	2	△ 8	【木造住宅耐震改修事業】	0円	0円	0円	0円	0円	木造住宅 (昭和56年5月31日以前に着工、階数2階以下) の耐震診断を行い上部構造評点が						1. 0未満と判定された住宅の耐震改修工事を行う者に対し、その費用の一部を助成。						・耐震補強設計に要する費用の3分の2に相当する額で、40万円を上限						・耐震改修工事に要する費用(32,600/㎡を限度)の2分の1に相当する額で、80万円を上限							目標値	実績値	差引	耐震補強設計助成実施者数(件)	3	0	△ 3	耐震改修助成実施者数(件)	3	0	△ 3	【安来地域材活用住宅普及事業】	12,000,000円	3,289,000円	0円	0円	8,711,000円	地域材を利用した住宅の新築工事等を行う者に対し、その費用の一部を助成。						・補助対象工事に要する費用の10分の1に相当する額で、100万円を上限							目標値	実績値	差引	地域材活用実施者数 (件)	15	12	△ 3
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																		
【建築確認事務】	3,174,086円	0円	0円	992,160円	2,181,926円																																																																																																																																		
成果指標	目標値	実績値	差引																																																																																																																																				
完了検査申請件数/確認申請件数 (%) (14件/14件)	100	100	0																																																																																																																																				
成果指標	目標値	実績値	差引																																																																																																																																				
適切な計画と認め許可する件数/届出件数 (%) (124件/124件)	100	100	0																																																																																																																																				
【木造住宅耐震診断事業】	120,000円	30,000円	0円	0円	90,000円																																																																																																																																		
木造住宅の耐震化の促進のため、木造住宅の耐震診断を行う者に対し、その費用の一部を助成。																																																																																																																																							
◇昭和56年5月31日以前に着工された階数2階以下の木造住宅																																																																																																																																							
・耐震診断に要する費用の10分の9に相当する額で、6万円を上限																																																																																																																																							
	目標値	実績値	差引																																																																																																																																				
耐震診断実施者数 (件)	10	2	△ 8																																																																																																																																				
【木造住宅耐震改修事業】	0円	0円	0円	0円	0円																																																																																																																																		
木造住宅 (昭和56年5月31日以前に着工、階数2階以下) の耐震診断を行い上部構造評点が																																																																																																																																							
1. 0未満と判定された住宅の耐震改修工事を行う者に対し、その費用の一部を助成。																																																																																																																																							
・耐震補強設計に要する費用の3分の2に相当する額で、40万円を上限																																																																																																																																							
・耐震改修工事に要する費用(32,600/㎡を限度)の2分の1に相当する額で、80万円を上限																																																																																																																																							
	目標値	実績値	差引																																																																																																																																				
耐震補強設計助成実施者数(件)	3	0	△ 3																																																																																																																																				
耐震改修助成実施者数(件)	3	0	△ 3																																																																																																																																				
【安来地域材活用住宅普及事業】	12,000,000円	3,289,000円	0円	0円	8,711,000円																																																																																																																																		
地域材を利用した住宅の新築工事等を行う者に対し、その費用の一部を助成。																																																																																																																																							
・補助対象工事に要する費用の10分の1に相当する額で、100万円を上限																																																																																																																																							
	目標値	実績値	差引																																																																																																																																				
地域材活用実施者数 (件)	15	12	△ 3																																																																																																																																				

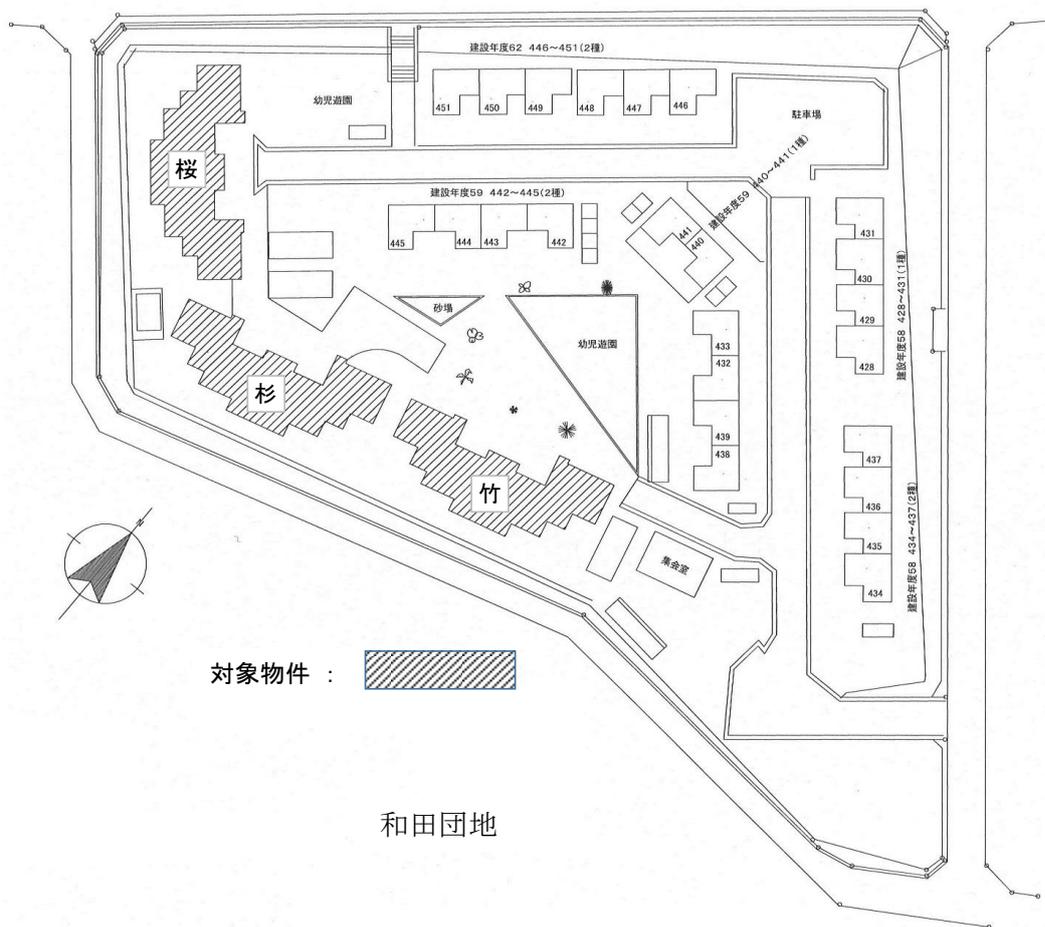
					決算事項別明細書		P147
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		建築住宅課
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	57	公営住宅整備事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	06 住宅費
事業進捗度		-				目	02 住宅建設費
予 算 額		737,000 円			目的	超高齢化及び人口減少社会に備え、市営住宅の適切な配置整備を行う。	
決 算 額 A		275,780 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	275,780 円					
人件費コスト B		1.0人役	7,684,000 円	総事業費 A+B		7,959,780 円	
<p>【事業内容】</p> <p>平成26年度に見直しを行った公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存及び将来の公営住宅等の整備に係る事業を行った。</p>							

				決算事項別明細書		P149
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	建築住宅課
中事業	40	生活環境整備の促進			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	66	公営住宅等ストック総合改善事業費				款 08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項 06 住宅費
事業進捗度		-				目 02 住宅建設費
予算額		994,000 円			目的	平成26年度に策定した公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化の進む公営住宅等ストックについて順次改善工事を行い、効率的に長寿命化を図っていく。
決算額 A		993,600 円				
財源内訳	国・県支出金	国1/2	496,000 円			
	地方債		0 円			
	その他		0 円			
	一般財源		497,600 円			
人件費コスト B		0.9人役	6,915,600 円		総事業費 A+B	7,909,200 円

【事業内容】

平成26年度に見直しを行った公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存市営住宅ストックをより効率的かつ長期的に活用するため、老朽化の進む既存市営住宅の改善工事を行い優良住宅形成に努める。

平成27年度は、和田団地（中層）の外部耐久性向上工事の実施設計を行った。  
（社会資本整備総合交付金対象事業：交付率≒50%）



						決算事項別明細書		P119		
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		環境政策課		
中事業	50	自然環境・景観の保全				予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	15	環境衛生費					款	04	衛生費	
事業開始年度		平成27年度					項	01	保健衛生費	
事業進捗度		-					目	03	環境衛生費	
予 算 額		7,898,000 円				目的	煙霧消毒機の貸出、河川の水質検査により衛生的な生活環境を保持する。			
決 算 額 A		7,425,373 円								
財源内訳	国・県支出金	0 円								
	地方債	0 円								
	その他	0 円								
	一般財源	7,425,373 円								
人件費コスト B		1.5人役	11,526,000 円		総事業費 A+B		18,951,373 円			
<b>【事業名称】</b>		事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源				
<b>【環境衛生事業】</b>		1,168,429円	0円	0円	0円	1,168,429円	自治会及び個人への煙霧消毒機の貸出を行い、衛生的な生活環境の保持を図った。 煙霧消毒機貸出 貸出し件数 56件			
<b>【老朽管更新事業】</b>		4,498,944円	0円	0円	0円	4,498,944円	老朽管更新事業負担金（水道会計への負担金）			
<b>【墓地の許認可に関する事業】</b>		30,000円	0円	0円	0円	30,000円	墓地の新設、変更、改葬、廃止等許可審査業務を実施 経営許可 2件 改葬許可 33件 廃止許可 7件			
<b>【河川水質事業】</b>		1,728,000円	0円	0円	0円	1,728,000円	安来市内河川の水質測定検査を実施 市内2河川（3箇所）において、生活環境項目及び健康項目の水質検査を年1回実施 市内12河川（14箇所）において、生活環境項目の水質検査を年1回実施 市内19河川（27箇所）において、簡易水質測定による検査を年3回実施			

						決算事項別明細書		P119																																											
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		環境政策課																																											
中事業	50	自然環境・景観の保全				予算科目	会計	01	一般会計																																										
小事業	16	環境保全費					款	04	衛生費																																										
事業開始年度		平成27年度					項	01	保健衛生費																																										
事業進捗度		-					目	03	環境衛生費																																										
予 算 額		22,109,000 円				目的	地球温暖化対策、水・自然環境の保全、公害対策の実施により周辺環境の保全を図る。																																												
決 算 額 A		13,620,296 円																																																	
財源内訳	国・県支出金	県定額	1,640,000 円																																																
	地方債		0 円																																																
	その他	基金	2,010,000 円																																																
	一般財源		9,970,296 円																																																
人件費コスト B		3.0人役	23,052,000 円		総事業費 A+B		36,672,296 円																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【地球温暖化対策事業】</td> <td>11,131,356円</td> <td>1,640,000円</td> <td>0円</td> <td>1,167,000円</td> <td>8,324,356円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">           安来市地球温暖化対策地域協議会との協働により、やすぎ環境フェアの開催をはじめとした市民の環境意識啓発を図り、地域の地球温暖化対策の推進に貢献した。            太陽光発電システム、ペレットストーブ等の設置者に対して費用の一部を補助し、自然エネルギーの普及促進を図った。            太陽光発電システム設置費補助金 交付件数：住宅用38件、事業所用2件            補助率：5万円/kw（上限20万円） 補助金総額：7,808,000円             ペレットストーブ等設置費補助金 交付件数：薪ストーブ2件 補助金総額：235,000円            補助率：3分の1（上限15万円）         </td> </tr> <tr> <td>【水環境保全事業】</td> <td>1,174,640円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>843,000円</td> <td>331,640円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">           水環境に配慮した地域づくりを推進するため、様々な水環境保全活動に取り組む団体に補助交付を行った。            水環境保全事業補助金 交付件数：6件 補助金総額：1,054,000円            補助率：3分の2（上限20万円）             環境学習会（鷹入の滝）         </td> </tr> <tr> <td>【公害防止事業】</td> <td>1,314,300円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,314,300円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">           自動車騒音の測定地点を設定し、測定を実施した。            測定地点 2箇所（①一般国道9号線：黒井田町 ②安来伯太日南線：宇賀荘町）         </td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【地球温暖化対策事業】	11,131,356円	1,640,000円	0円	1,167,000円	8,324,356円	安来市地球温暖化対策地域協議会との協働により、やすぎ環境フェアの開催をはじめとした市民の環境意識啓発を図り、地域の地球温暖化対策の推進に貢献した。 太陽光発電システム、ペレットストーブ等の設置者に対して費用の一部を補助し、自然エネルギーの普及促進を図った。 太陽光発電システム設置費補助金 交付件数：住宅用38件、事業所用2件 補助率：5万円/kw（上限20万円） 補助金総額：7,808,000円  ペレットストーブ等設置費補助金 交付件数：薪ストーブ2件 補助金総額：235,000円 補助率：3分の1（上限15万円）						【水環境保全事業】	1,174,640円	0円	0円	843,000円	331,640円	水環境に配慮した地域づくりを推進するため、様々な水環境保全活動に取り組む団体に補助交付を行った。 水環境保全事業補助金 交付件数：6件 補助金総額：1,054,000円 補助率：3分の2（上限20万円）  環境学習会（鷹入の滝）						【公害防止事業】	1,314,300円	0円	0円	0円	1,314,300円	自動車騒音の測定地点を設定し、測定を実施した。 測定地点 2箇所（①一般国道9号線：黒井田町 ②安来伯太日南線：宇賀荘町）					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																														
【地球温暖化対策事業】	11,131,356円	1,640,000円	0円	1,167,000円	8,324,356円																																														
安来市地球温暖化対策地域協議会との協働により、やすぎ環境フェアの開催をはじめとした市民の環境意識啓発を図り、地域の地球温暖化対策の推進に貢献した。 太陽光発電システム、ペレットストーブ等の設置者に対して費用の一部を補助し、自然エネルギーの普及促進を図った。 太陽光発電システム設置費補助金 交付件数：住宅用38件、事業所用2件 補助率：5万円/kw（上限20万円） 補助金総額：7,808,000円  ペレットストーブ等設置費補助金 交付件数：薪ストーブ2件 補助金総額：235,000円 補助率：3分の1（上限15万円）																																																			
【水環境保全事業】	1,174,640円	0円	0円	843,000円	331,640円																																														
水環境に配慮した地域づくりを推進するため、様々な水環境保全活動に取り組む団体に補助交付を行った。 水環境保全事業補助金 交付件数：6件 補助金総額：1,054,000円 補助率：3分の2（上限20万円）  環境学習会（鷹入の滝）																																																			
【公害防止事業】	1,314,300円	0円	0円	0円	1,314,300円																																														
自動車騒音の測定地点を設定し、測定を実施した。 測定地点 2箇所（①一般国道9号線：黒井田町 ②安来伯太日南線：宇賀荘町）																																																			

						決算事項別明細書		P119																																											
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		下水道課																																											
中事業	50	自然環境・景観の保全				予算科目	会計	01	一般会計																																										
小事業	18	浄化槽普及促進事業費					款	04	衛生費																																										
事業開始年度		平成元年度					項	01	保健衛生費																																										
事業進捗度		-					目	03	環境衛生費																																										
予 算 額		6,164,000 円				目的	下水道整備が遅れている地域の公共用水域の水質汚濁解消及び水洗化向上を促す。																																												
決 算 額 A		5,958,000 円																																																	
財源内訳	国・県支出金	国1/3	1,452,000 円																																																
	地方債		0 円																																																
	その他		0 円																																																
	一般財源		4,506,000 円																																																
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		5,958,000 円																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【浄化槽設置事業費】</td> <td>4,356,000円</td> <td>1,452,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>2,904,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">○平成27年度実績</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td colspan="2">補助限度額 (円)</td> <td>設置基数 (基)</td> <td colspan="2">交付額 (円)</td> </tr> <tr> <td>5人槽</td> <td>高度処理型</td> <td>444,000</td> <td>2</td> <td colspan="2">888,000</td> </tr> <tr> <td>6~7人槽</td> <td>高度処理型</td> <td>486,000</td> <td>2</td> <td colspan="2">972,000</td> </tr> <tr> <td>31~50人槽</td> <td>高度処理型</td> <td>2,496,000</td> <td>1</td> <td colspan="2">2,496,000</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【浄化槽設置事業費】	4,356,000円	1,452,000円	0円	0円	2,904,000円	○平成27年度実績						区分	補助限度額 (円)		設置基数 (基)	交付額 (円)		5人槽	高度処理型	444,000	2	888,000		6~7人槽	高度処理型	486,000	2	972,000		31~50人槽	高度処理型	2,496,000	1	2,496,000	
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																														
【浄化槽設置事業費】	4,356,000円	1,452,000円	0円	0円	2,904,000円																																														
○平成27年度実績																																																			
区分	補助限度額 (円)		設置基数 (基)	交付額 (円)																																															
5人槽	高度処理型	444,000	2	888,000																																															
6~7人槽	高度処理型	486,000	2	972,000																																															
31~50人槽	高度処理型	2,496,000	1	2,496,000																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【水質保全対策事業費】</td> <td>1,588,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,588,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">安来インター工業団地内企業に、浄化槽の維持管理経費の一部（70%）に対して助成を行った。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">○平成27年度対象事業所 4社</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【水質保全対策事業費】	1,588,000円	0円	0円	0円	1,588,000円	安来インター工業団地内企業に、浄化槽の維持管理経費の一部（70%）に対して助成を行った。						○平成27年度対象事業所 4社																							
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																														
【水質保全対策事業費】	1,588,000円	0円	0円	0円	1,588,000円																																														
安来インター工業団地内企業に、浄化槽の維持管理経費の一部（70%）に対して助成を行った。																																																			
○平成27年度対象事業所 4社																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【浄化槽管理センター負担金】</td> <td>14,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>14,000円</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【浄化槽管理センター負担金】	14,000円	0円	0円	0円	14,000円																														
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																														
【浄化槽管理センター負担金】	14,000円	0円	0円	0円	14,000円																																														

決算事項別明細書						P119
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	水道管理課
中事業	50	自然環境・景観の保全			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	19	特別会計繰出金費（簡易水道事業）				款 04 衛生費
事業開始年度		平成27年度				項 01 保健衛生費
事業進捗度		—				目 03 環境衛生費
予 算 額		276,416,000 円			目的	特別会計繰出金費（簡易水道事業）
決 算 額 A		249,016,000 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	249,016,000 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	249,016,000 円
特別会計繰出金費（簡易水道事業）						

決算事項別明細書						P119
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	下水道課
中事業	50	自然環境・景観の保全			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	20	特別会計繰出金費（個別排水処理事業）				款 04 衛生費
事業開始年度		平成27年度				項 01 保健衛生費
事業進捗度		—				目 03 環境衛生費
予 算 額		10,896,000 円			目的	特別会計繰出金（個別排水処理事業）
決 算 額 A		10,700,000 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	10,700,000 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	10,700,000 円
特別会計繰出金（個別排水処理事業）						

決算事項別明細書						P119
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	下水道課
中事業	50	自然環境・景観の保全			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	21	特別会計繰出金費（浄化槽市町村整備推進事業）				款 04 衛生費
事業開始年度		平成27年度				項 01 保健衛生費
事業進捗度		—				目 03 環境衛生費
予 算 額		76,969,000 円			目的	特別会計繰出金（浄化槽市町村整備推進事業）
決 算 額 A		76,200,000 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	76,200,000 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	76,200,000 円
特別会計繰出金（浄化槽市町村整備推進事業）						

決算事項別明細書						P121						
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	下水道課						
中事業	50	自然環境・景観の保全			予算科目	会計 01 一般会計						
小事業	24	コミュニティ・プラント運営費				款 04 衛生費						
事業開始年度		平成25年度				項 02 清掃費						
事業進捗度		-				目 03 し尿処理費						
予 算 額		2,500,000 円				目的						
決 算 額 A		1,912,077 円										
財源内訳	国・県支出金		0 円		汚水処理施設（コミプラ）の定期的な維持管理を行い、快適な生活環境を創造し、周辺水域の水質保全を図る。							
	地方債		0 円									
	その他	使用料外	742,361 円									
	一般財源		1,169,716 円									
人件費コスト B		0.0人役	0 円			総事業費 A+B	1,912,077 円					
<p>福頼団地のコミュニティ・プラント施設の定期的な維持管理費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>供用開始戸数(戸)</th> <th>接続戸数(戸)</th> <th>接続率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>26</td> <td>96.3</td> </tr> </tbody> </table>							供用開始戸数(戸)	接続戸数(戸)	接続率(%)	27	26	96.3
供用開始戸数(戸)	接続戸数(戸)	接続率(%)										
27	26	96.3										

決算事項別明細書						P119
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	水道管理課
中事業	50	自然環境・景観の保全			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	30	企業会計負担金（水道事業）				款 04 衛生費
事業開始年度		平成27年度				項 01 保健衛生費
事業進捗度		-				目 03 環境衛生費
予 算 額		1,010,000 円				目的
決 算 額 A		1,010,000 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円		企業会計負担金（水道事業）	
	地方債		0 円			
	その他		0 円			
	一般財源		1,010,000 円			
人件費コスト B		0.0人役	0 円			総事業費 A+B
<p>安来市水道事業会計負担金</p>						

					決算事項別明細書		P89
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		市民参画課
中事業	60	地域防災・防犯の推進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	11	交通安全対策費				款	02 総務費
事業開始年度		平成27年度				項	01 総務管理費
事業進捗度		-				目	08 交通安全対策費
予 算 額		5,658,000 円			目的	市民の交通安全意識を高め、交通事故防止・減少を図る。	
決 算 額 A		4,840,926 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	4,840,926 円					
人件費コスト B		1.2人役	9,220,800 円		総事業費 A+B	14,061,726 円	

【事業内容】

交通安全保持のため、警察等関係機関の協力を得ながら交通安全啓発活動を行うとともに、子どもや高齢者を対象とする交通安全教室等を通して交通安全意識の高揚を図った。

- ・5/11～5/20 春の交通安全運動 街頭指導及び交通安全テント村を実施
  - ・8/28 交通安全高齢者の主張安来地区大会をふれあいプラザにて開催
  - ・9/14 思いやりロードの指定及び啓発活動（錦町交差点から城谷橋交差点まで）
  - ・9/21～9/30 秋の交通安全運動 街頭指導及び交通安全テント村を実施
  - ・11/2 夜光反射材着用啓発活動（思いやりロード）
  - ・11/5 島根県交通安全県民大会へ参加（大社町）
  - ・11/18 安来市交通安全大会を安来節演芸館にて開催
  - ・11/21 子どもと親・高齢者世代間交流交通安全教室（荒島小学校）
  - ・12/25 交通死亡事故多発警報に伴う啓発活動（JAしまね赤江支店前）
  - ・その他 バスの交通安全教室の実施（南小学校、高齢者向け）
- ※随時 市内小学校において交通指導員による交通安全教室実施  
交通指導員による朝の通勤・通学時間帯の交通安全指導  
交通安全施設の整備（カーブミラー14基設置等）

安来市の交通事故件数

	発生件数	死者数 (人)	傷者数(人)		物損事故
			重傷	軽傷	
平成26年	85	1	1	90	1,007
平成27年	76	0	4	79	1,036
増減	△ 9	△ 1	3	△ 11	29

\*昭和29年以来61年ぶりに死者数ゼロ



子どもと親・高齢者世代間交流交通安全教室(荒島小)



交通事故多発警報時啓発活動(JAしまね赤江支店前)

決算事項別明細書					P93	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	危機管理課
中事業	60	地域防災・防犯の推進			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	12	防災費				款 02 総務費
事業開始年度		平成27年度				項 01 総務管理費
事業進捗度		-			目 13 防災諸費	
予 算 額		38,076,000 円			目的	災害予防・意識啓発を目的としたソフト事業（出前講座等）をハード事業に織り交ぜ、災害に強い人づくり・まちづくりを目指す。
決 算 額 A		34,783,410 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	緊防外	7,000,000 円			
	その他	諸収入外	2,920,337 円			
	一般財源	24,863,073 円				
人件費コスト B		2.9人役	22,283,600 円		総事業費 A+B	57,067,010 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【防犯対策事業】	8,477,268円	0円	0円	920,337円	7,556,931円
----------	------------	----	----	----------	------------

安来市の防犯協会への負担金並びに自治会設置の防犯灯に対する補助を行った。また、子供の通学路の安全確保及び街頭犯罪の発生抑止を目的に、市内3箇所に防犯カメラを設置した。

- ・防犯灯設置補助 申請件数153件、設置数331灯 5,644,000 円  
※事業費の2分の1を補助（上限：LED 1灯につき25,000円、蛍光灯 1灯につき15,000円）
- ・防犯カメラ設置 汐手が丘、広瀬町富田（道の駅）、伯太町井尻 893,268 円
- ・安来市防犯協会負担金 1,940,000 円



防犯カメラ



防犯灯（LED）

【災害情報通信基盤整備事業】	14,794,225円	0円	6,500,000円	0円	8,294,225円
----------------	-------------	----	------------	----	------------

緊急時の情報通信施設の整備にかかる負担金、及び機器の保守管理等の実施。

- ・島根県防災情報ネットワーク整備費負担金（H27～29年度） 6,579,000 円
- ・総合防災システム維持管理費負担金 1,746,000 円
- ・保守点検委託料（防災行政無線システム他） 3,402,000 円
- ・その他（防災行政無線再免許申請他） 1,844,412 円
- ・無線中継基地他電気料金 1,222,813 円



島根県防災情報ネットワーク  
（安来庁舎建替えに併せ更新）

【防災対策事業】 11,511,917円 0円 500,000円 2,000,000円 9,011,917円

災害に備え、防災マップの更新、自主防止組織の育成、訓練、研修等を行った。

- ・防災マップ更新（H28年度各戸配布予定、前回配布H19年度） 4,968,000円
- ・コミュニティ助成事業 防災に備えた地域コミュニティ充実（資機材購入補助、自主防災ひろせ） 2,000,000円
- ・自主防災組織育成事業（資機材整備、訓練等事業の補助、15団体） 784,000円

※自主防災組織の構成世帯数に応じ、下記金額を限度に補助対象事業費の3分の2を補助します。

（その額に1,000円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額）

ただし、3分の2の補助金の交付を3回受けた場合は、それ以降2分の1とする。

自主防災組織構成世帯数の区分	補助金の限度額
200世帯以下	40,000円
201世帯以上300世帯以下	60,000円
301世帯以上400世帯以下	80,000円
401世帯以上	160,000円

- ・総合防災訓練、原子力防災訓練、防災指導者講習会他 3,759,917円



総合防災訓練

- ・10月3日
- ・伯太庁舎及び周辺
- ・参加者216名



原子力防災訓練

- ・10月23・25日
- ・十神地区、第一中学校、はくた文化学習館他
- ・参加者140人

					決算事項別明細書		P149
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		消防総務課
中事業	60	地域防災・防犯の推進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	16	常備消防費				款	09 消防費
事業開始年度		平成27年度				項	01 消防費
事業進捗度		-			目	01 常備消防費	
予 算 額		65,335,000 円			目的	常備消防として各種災害に対処するため、職員の資質向上と消防資機材の維持管理等を行い、災害の軽減を図る。	
決 算 額 A		63,010,397 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	緊防	5,600,000 円				
	その他	手数料外	9,712,745 円				
	一般財源	47,697,652 円					
人件費コスト B		75.0人役	576,300,000 円	総事業費 A+B	639,310,397 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【救急体制の整備】	4,654,191円	0円	0円	0円	4,654,191円
-----------	------------	----	----	----	------------

救急救命士の養成と高度な応急処置実施のために、医療機関での実習(就業前実習、薬剤投与、気管挿管実習等)を行い、医学会への参加や医療機関との連携を通じ救急体制の整備を図った。

- 旅費 延べ12人 776,400 円
- 役務費 723,551 円
  - ・手数料、保険料
- 使用料及び貸借料 630,000 円
  - ・器具借上料(救急システム)
- 負担金及び交付金 2,504,800 円
  - ・救急医学会等研修負担金 14,000 円
  - ・メディカルコントロール協議会負担金 他 403,000 円
  - ・救急救命士養成負担金1人・救急救命士実地修練1人 2,087,800 円
- 需用費 19,440 円
  - ・印刷製本費(気管挿管実習承諾書)

【防災体制の構築事業】	52,738,206円	0円	0円	9,712,745円	43,025,461円
-------------	-------------	----	----	------------	-------------

多様な災害に対処できる高度な能力を持つ消防職員の育成。通常の災害から大規模な災害まですべて対処可能にし、住民の安心安全を確保するための資機材整備を行った。

- 旅費 3,626,440 円
  - ・消防学校、消防大学校旅費 延べ12人 1,654,500 円
  - ・その他研修、会議旅費 延べ116人 1,971,940 円
- 需用費 24,493,405 円
  - ・消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費  
修繕費、被服費



救助服・救急服・活動服

- 役務費 7,131,346 円
  - ・通信費、手数料、保険料

○委託料	2,185,789 円
・ 保守管理委託料 他	
○使用料及び貸借料	1,506,531 円
・ 使用料、敷地借上料 他	
○備品購入費	8,128,456 円
・ 庁用備品 (物置 等)	600,636 円
・ 器具費	7,527,820 円



サーバイバスリング(安来)  
103,680円×1=103,680円



横幕 (安来2、広瀬、伯太)  
55,000円×4=220,000円



消火体験装置一式 (本署)  
388,800円×1式=388,800円



空気ボンベ  
123,696円×6本=742,176円



無反動ノズル(広瀬、比田、伯太)  
43,740円×3基=131,220円



防火衣一式  
145,800円×25着  
=3,645,000円



バックボード一式 (本署)  
71,280円×1式=71,280円



電子血圧計(本署)  
43,200円×2=86,400円



シャットオフボールバルブ  
(広瀬、比田、伯太)  
36,288円×3基=108,864円



消防用ホース(60本)  
33,120円×60本=1,987,200円



タイヤチェーン (本署救急車用)  
43,200円×1式=43,200円

○負担金補助及び交付金	2,802,739 円
・ 消防学校、消防大学校負担金 他	1,513,776 円
・ 協議会、防火委員会、消防長会等負担金	1,288,963 円
○公課費	922,800 円
・ 自動車重量税 (19台)	
○その他	271,248 円
・ 報償費、消防長交際費 他	
○社会保険料	235,952 円
○賃金	1,433,500 円
・ 臨時雇用賃金(1人分)	

<b>【防災情報ネットワーク整備事業】</b>	5,618,000円	0円	5,600,000円	0円	18,000円
・ 防災行政無線通信施設費負担金			5,618,000 円		

						決算事項別明細書		P151
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり				担当部署		消防総務課
中事業	60	地域防災・防犯の推進				予算科目	会計	01 一般会計
小事業	21	非常備消防費					款	09 消防費
事業開始年度		平成27年度					項	01 消防費
事業進捗度		-					目	02 非常備消防費
予 算 額		88,884,000 円				目的	消防団の資質向上と消防資機材の維持管理等を図ることにより、水火災及び地震等の災害を予防し、被害の軽減を図る。	
決 算 額 A		85,942,971 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	諸収入	23,482,393 円					
	一般財源	62,460,578 円						
人件費コスト B		4.0人役	30,736,000 円		総事業費 A+B	116,678,971 円		
<b>【事業名称】</b>		事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
<b>【消防団体制の構築事業】</b>		80,900,189円	0円	0円	23,482,393円	57,417,796円		
<p>消防団は、災害現場での活動や日頃の地域住民への防災指導などの地域防災力の中核をなすものである。災害状況によっては消防団の活動も広範且つ長時間に及ぶもので、その対応能力を更に向上させるための訓練及び研修派遣を充実させ、地域防災力向上を図った。</p>								
○報酬						28,197,600 円		
・ 消防団員報酬(720人)						16,433,000 円		
・ 機械器具手入れ報酬(47台)						1,005,000 円		
・ 訓練出動報酬(延べ2,545人)						7,635,000 円		
・ 災害出動報酬(火災306人、水道管凍結85人、捜索45人、延べ436人)						1,569,600 円		
・ 火災予防警戒パトロール(春・秋火災予防週間)(延べ225人)						675,000 円		
・ 操縦者等報酬						880,000 円		
○災害補償費						0 円		
・ 公務災害補償費(0人)								
○恩給及び退職年金						1,611,900 円		
・ 遺族年金(支給対象者1人)								
○報償費						16,332,960 円		
・ 消防団退職報償金(43人)						15,850,000 円		
・ 安来市消防団協力隊謝礼(57人)						159,600 円		
・ その他(功労者表彰費、消防団長表彰費 他)						323,360 円		
○旅費						4,931,560 円		
・ 費用弁償、普通旅費								
○交際費						8,909 円		
・ 団長交際費								
○需用費						3,389,342 円		
・ 消耗品費						399,307 円		
・ 燃料費						678,689 円		
・ 被服費						1,499,978 円		
・ その他(印刷製本、光熱水費)						811,368 円		
○負担金補助及び交付金						20,037,983 円		
・ 消防団員退職報償金掛金(823人)						15,801,600 円		
・ 消防団員福祉共済掛金(720人)						2,160,000 円		
・ 公務災害補償費等共済掛金(823人)						1,710,126 円		
・ その他(県消防協会負担金、教養負担金、電波利用負担金)						325,257 円		
・ 防火防災訓練災害補償等共済掛金						41,000 円		

○備品購入費

5,960,520 円



給水管ストップバルブ  
43,200円×2基=86,400円



角型水槽  
190,080円×1基=190,080円



ホース巻取り機  
28,080円×1機=28,080円



消防用ホース(県操法大会用21本)  
32,400円×21本=680,400円



消防用ホース(各班配布50本)  
34,560円×50本=1,728,000円



消防用ホース(女性操法用)  
22,680×11本=249,480円



消防団員用防火衣  
54,510円×55着=2,998,080円

○その他 (通信運搬費、手数料、下水道使用料 等)

429,415 円

【消防団車両維持管理事業】

5,042,782円

0円

0円

0円

5,042,782円

消防車両の整備維持管理は、災害時の適切且つ迅速な対応を可能にするためには不可欠で、消防設備等の充実を図り、災害による被害を軽減することに対応した。

○需用費

3,146,315 円

- ・ 修繕料

○役務費

1,189,667 円

- ・ 手数料 (12ヶ月点検 等)
- ・ 保険料 (自賠責保険、共済保険)

314,373 円

875,294 円

○公課費

706,800 円

- ・ 自動車重量税 (27台)

決算事項別明細書						P153	
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	消防総務課	
中事業	60	地域防災・防犯の推進			予算科目	会計 01 一般会計	
小事業	26	常備消防施設費				款 09 消防費	
事業開始年度		平成27年度				項 01 消防費	
事業進捗度		-				目 03 消防施設費	
予 算 額		11,997,000 円				目的 消防施設及び設備の整備拡充を行うことにより、各種の災害に初動から迅速かつ効果的に対応し、被害の軽減を図るもの。	
決 算 額 A		11,831,091 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	過疎外	9,000,000 円				
	その他	0 円					
	一般財源	2,831,091 円					
人件費コスト B		4.0人役	30,736,000 円		総事業費 A+B		42,567,091 円

【事業内容】

24時間出動体制を確保し、消防業務を円滑に遂行するため、消防施設を適正に維持管理し更に施設整備を充実させ、業務効率を高める職場環境の確保を図った。

○需用費 498,268 円

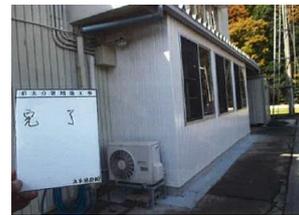
・修繕費（維持）

○工事請負費 1,836,000 円

・伯太分署増築工事



着工前



完了

○備品購入費 9,072,000 円



資機材搬送車（本署）



○委託料 424,823 円

・消防本部登記委託

					決算事項別明細書		P153
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署		消防総務課
中事業	60	地域防災・防犯の推進			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	27	非常備消防施設費				款	09 消防費
事業開始年度		平成27年度				項	01 消防費
事業進捗度		-				目	03 消防施設費
予 算 額		44,474,000 円			目的	消防団施設及び設備の整備拡充を図り、安心で安全な住みよい地域づくりを目指すもの。	
決 算 額 A		42,522,992 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	緊防	37,200,000 円				
	その他	0 円					
	一般財源	5,322,992 円					
人件費コスト B		3.0人役	23,052,000 円	総事業費 A+B	65,574,992 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【非常備消防施設等整備事業】	4,193,572円	0円	0円	0円	4,193,572円

老朽化した車両、資機材及び施設を整備し消防力の充実強化を図り、年々多様化する災害への対応を図ったもの。また、消防水利が少ない地域には計画的に整備し、消防体制の充実を図るとともに、火災による被害を軽減し、住民に安心と安全を提供した。

- 需用費 357,696 円
  - ・ 修繕料（維持） 防火水槽修繕
- 手数料 200,000 円
- 工事請負費 3,537,000 円
- 材料費 59,996 円
- 負担金補助及び交付金（上水道加入負担金） 38,880 円

（広瀬分団拠点施設 外構舗装工事）



着工前

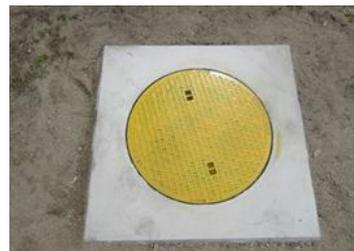


完了

（西比田防火水槽修理）



着工前



完了

【消防団車両機械器具整備事業】

29,052,000円

0円 28,000,000円

0円 1,052,000円



消防ポンプ自動車 布部1班  
 小型動力ポンプ付積載車 山佐2班  
 軽可搬消防ポンプ一式 女性消防隊

全国女性消防操法大会



【消火栓整備事業】

9,277,420円

0円 9,200,000円

0円 77,420円



広瀬町梶福留



広瀬町下山佐奥谷



広瀬町石原



広瀬町宇波宮上

新設消火栓整備箇所

15箇所

決算事項別明細書						P153
大事業	30	みんなが住みよい快適環境のまちづくり			担当部署	消防総務課
中事業	60	地域防災・防犯の推進			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	31	水防費				款 09 消防費
事業開始年度		平成27年度				項 01 消防費
事業進捗度		-				目 04 水防費
予 算 額		1,270,000 円				目的
決 算 額 A		1,266,362 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	1,266,362 円				
人件費コスト B		3.0人役	23,052,000 円		総事業費 A+B	24,318,362 円

【事業内容】

災害の規模、状況等に応じて消防職団員を招集し、警戒パトロール、広報活動や情報収集を行い必要に応じて水防工法を実施したもの。また、災害が発生した場合は、水防倉庫内の資機材を活用するため、倉庫の維持管理や資機材整備を行った。

- 出動報酬 1,022,400 円
  - ・水防訓練 288,000 円
  - ・水防活動（平成27年7月16日 台風11号接近に伴う警戒出動） 734,400 円



水防訓練（土のう積み、シート張工法）

- 需用費 97,954 円
  - ・消耗品費（角スコップ 等）

- 材料費 29,152 円

- 器具費 116,856 円



刈払機 2台（本署）